

農業競争力強化農地整備事業  
(農地整備事業【経営体育成型】)

土地改良事業計画書(第1回計画変更)  
(区画整理)

県	名	岩		手
地	区	下	横	瀬
所	在	奥	州	市
事	業	岩	手	県

# 土 地 改 良 事 業 計 画 書

変更前後

## 目 次

第1章	目 的 -----	1		第2節	営農計画及び土地利用計画 -----	30
第2章	地域及び地積 -----	2		1.	営農計画の概要 -----	30
	第1節 地域 -----	2		2.	土地利用区分 -----	30
	第2節 地積 -----	2		3.	作付方式 -----	31
第3章	現 況 -----	3		4.	生産計画 -----	32
	第1節 気象及び海象 -----	3		5.	労働改善計画 -----	33
	1. 一般気象 -----	3		6.	級地別土地利用区分 -----	34
	2. 特殊気象 -----	4		7.	土地配分計画 -----	34
	3. 海象 -----	4		第3節	用水計画 -----	35
	第2節 土地状況 -----	5		1.	計画基準年 -----	35
	1. 地形、土壌及び侵食の程度 -----	5		2.	計画かんがい方式 -----	35
	2. 土地分類 -----	7		3.	計画用水系統 -----	35
	3. 土地利用の状況 -----	8		4.	計画用水量 -----	37
	4. 土地所有の状況 -----	9		5.	水源計画 -----	39
	第3節 水利状況 -----	10		第4節	排水計画 -----	42
	1. 用水状況 -----	10		1.	計画基準雨量 -----	42
	2. 排水状況 -----	16		2.	計画排水方式 -----	42
	3. 河川状況 -----	20		3.	計画排水系統 -----	42
	第4節 道路概況 -----	21		4.	計画排水量 -----	44
	1. 道路概況 -----	21		5.	排水対策 -----	45
	2. 主要道路一覧表 -----	22		6.	湛水検討 -----	46
	第5節 地域農業の概況 -----	24		第5節	道路計画 -----	47
	1. 産業別就業人口 -----	24		1.	道路及び索道 -----	47
	2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数 -----	25		2.	路線配置図 -----	47
	3. 動力農機具及び主要家畜頭数 -----	26		第6節	農用地造成計画 -----	49
	4. 主要作物作付状況 -----	27		1.	農用地造成計画 -----	49
	5. 農業の動向 -----	28		2.	土壌改良 -----	49
	第6節 地域環境の概況 -----	28		第7節	洪水調節計画 -----	50
第4章	一般計画 -----	29		1.	計画基準雨量 -----	50
	第1節 事業計画の要旨 -----	29		2.	計画洪水量及び調節量 -----	50
	1. 要旨 -----	29		3.	貯水池 -----	50
	2. 事業別面積 -----	29		4.	洪水調節検討 -----	51
				5.	管理計画 -----	51

変更前後

第8節	干拓計画	-----	51
第9節	農用地整備計画	-----	52
	1. 区画整理	-----	52
	2. 暗渠排水	-----	54
	3. 客土	-----	55
	4. 農地保全	-----	55
第10節	老朽ため池改修計画	-----	56
	1. 洪水吐改修計画	-----	56
	2. 堤体補強計画	-----	56
	3. 取水施設改修計画	-----	56
第5章	主要工事計画	-----	57
第1節	用水施設	-----	57
	1. 貯水池	-----	57
	2. 頭首工	-----	58
	3. 揚水機	-----	58
	4. 用水路	-----	59
	5. その他かんがい施設	-----	59
第2節	排水施設	-----	60
	1. 排水水門	-----	60
	2. 排水機	-----	60
	3. 排水路	-----	61
	4. その他排水施設	-----	61
第3節	道路及び索道	-----	62
	1. 道路	-----	62
	2. 索道	-----	62
第4節	農用地造成	-----	63
	1. 農用地造成	-----	63
	2. 土壌改良	-----	64
第5節	洪水調節施設	-----	65
	1. 貯水池	-----	65
	2. 頭首工及び導水路	-----	65
第6節	干拓施設	-----	65
	1. 堤防	-----	65
	2. 潮止め	-----	65
	3. 付属施設	-----	65
	4. 埋立	-----	65

第7節	農用地整備施設	-----	66
	1. 区画整理	-----	66
	2. 暗渠排水	-----	67
	3. 客土	-----	67
	4. 除礫	-----	67
	5. 農地保全	-----	68
第8節	老朽ため池改修施設	-----	69
	1. 貯水池	-----	69
	2. 堤体補強施設	-----	69
第6章	附帯工事計画	-----	70
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	-----	70
第8章	環境との調和への配慮	-----	70
第9章	換地計画の概要	-----	71
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	-----	71
第2節	換地区の設定	-----	71
	1. 換地区の名称、所在、面積	-----	71
	2. 換地区を設定する理由	-----	71
第3節	換地計画樹立の基本方針	-----	72
	1. 従前の土地の地積の基準	-----	72
	2. 用途別予定地積	-----	73
	3. 農用地集団化の方針	-----	74
	4. 非農用地の換地方法	-----	74
第4節	土地の評価及び清算の方法	-----	75
	1. 評価の方法	-----	75
	2. 清算の方法	-----	75
第5節	換地計画樹立の年度計画	-----	75
第6節	換地処分 of 時期に関する特則	-----	75
第10章	事業費の総額及び内訳	-----	76
第11章	効 用	-----	76
第12章	関連する事業	-----	77
第13章	現況・計画図面	-----	78
	1. 位 置 図	-----	78
	2. 現況計画平面図	-----	78
	3. 土地利用計画図	-----	78
	4. 主要構造図	-----	78

# 第 1 章 目 的

上段：変更後

下段：変更前

〃

本地区は、奥州市役所より北東へ約12kmに位置する一級河川伊手川沿いに開けた水田地帯である。

営農形態は、稲作を中心に野菜、畜産を組み合わせた複合経営で農家個々による完結型の営農が中心である。

昭和30年代の積雪寒冷地帯土地改良事業藤里地区の一部、昭和40年代の非補助土地改良事業猿ヶ石地区、境田地区、向畑地区、竹洞地区、老耳地区の一部、昭和50年代の構造改善事業藤里地区の一部で整備されてはいるものの、区画は10 a ～20 a 程度と小区画である。

また、地区内の小用排水路のほとんどが土水路となっており、維持管理に多大な労力を費やしているほか、農道の幅員もほとんどが2 m程度と狭小で大型機械の通行が困難であることから、効率的な営農の展開が不可能な状態となっている。

これらを解決するため、本事業により高生産性ほ場を整備し、営農や維持管理等の省力化を図ると共に、担い手への農地集積を推進し、農業経営の安定化を図るものである。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地域

上段：変更後  
下段：変更前

(第1表)

事業名	地域
〃 区画整理	〃 岩手県奥州市江刺 藤里、玉里地内

### 第2節 地積

(令和 5年3月現在)

(平成30年12月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名							
〃 区画整理	〃	185.3	〃	1.8	〃	37.7	225.4	
	奥州市	181.9	0.6	1.4	0.0	37.0	220.9	
	計	185.3	〃	1.8	〃	37.7	225.4	
	計							
合計		185.3	〃	1.8	〃	37.7	225.4	
		181.9	0.6	1.4	0.0	37.0	220.9	

### 第3章 現 況

上段：変更後  
下段：変更前

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成31年3月版)

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成26年3月版) (第3表-1)

観測所名	江刺地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H20～H29年 H15年～H24年	5月～ 8月	9月～ 4月		
平均気温(℃)		21.0 20.4	6.7 6.5	11.4 11.2	
降水量	平均(mm)	472.3 500.1	708.3 666.4	1,180.6 1,166.5	
	基準年(mm)	—	—	—	
降水日数	平均(日)	43 45	89 95	132 139	
	基準年(日)	—	—	—	
根雪期間		月 日 ～ 月 日 日間			
無霜期間		4月28日	～ 11月 1日	181日間	
		4月30日	～ 10月 24日	178日間	
最多風向			最大風速	16.2 m/s 15.2 m/s	最多風向発生時期
		— NW	(風 向)	— (Wnw)	— H27年 2月27日 最大風速発生年月日 H24年11月27日

上段：変更後  
下段：変更前

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成31年3月版)  
(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成26年3月版)  
(第3表-2)

## 2. 特殊気象

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数	年 月 日	発生 確 率	数	年 月 日	発生 確 率	数	年 月 日	発生 確 率	数	年 月 日	発生 確 率	数	年 月 日	発生 確 率	
観測期間																
M41年～H29年 S44年～H24年	量			量			量			量			量			
最大日雨量(mm)	216	H13. 8. 1	1/509	158	S62. 8. 17	1/80	132	H14. 7. 11	1/31	112	H23. 9. 21	1/14	104	H14. 8. 11	1/10	
M41年～H29年 S44年～H24年																
最大時間雨量(mm)	48	S52. 7. 18. 18	1/72	46	S48. 6. 14. 17	1/51	38. 5	H24. 9. 19. 18	1/15	37	S44. 9. 7. 13	1/11	36	H13. 8. 1. 5	1/10	
S52年～H29年 S44年～H24年																
最大4時間雨量(mm)	114	H13. 8. 1. 7	1/243	113	H13. 8. 1. 6	1/227	95	H13. 8. 1. 5	1/64	74	S52. 7. 18. 20	1/14	73	H14. 7. 11. 9	1/13	
S52年～H29年 S44年～H24年																
最大3日連続雨量(mm)	230	H13. 8. 2	1/89	229	H13. 8. 1	1/88	223	H13. 8. 3	1/74	197	H14. 7. 11	1/36	184	H10. 8. 31	1/25	
M41年～H29年 S44年～H24年																
最大連続旱天日数(日)	38	H6. 7. 12	1/611	38	S59. 7. 20	1/611	30	H15. 5. 1	1/22	28	H23. 7. 2	1/12	27	H16. 7. 21	1/9	
M41年～H29年 S44年～H24年																

## 3. 海 象

〃  
該当なし

## 第2節 土地状況

### 1. 地形、土壌及び侵食の程度

上段：変更後

下段：変更前

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考	
		1/1,000 以下	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～8°	8°～15°			15° ～20°	20° 以上	計	最高	最低		
										8° ～10°	10° ～15°	8° ～15°							
区画整理	面積(ha)		37.1 36.5	46.3 45.7	24.1 23.2	77.8 76.5	185.3 181.9	〃 0.6							〃 0.6	〃 115	〃 60		
	比率(%)		〃 20	〃 25	〃 13	〃 42	〃 100	〃 100							〃 100				
合計	面積(ha)		37.1 36.5	46.3 45.7	24.1 23.2	77.8 76.5	185.3 181.9	〃 0.6							〃 0.6				
	比率(%)		〃 20	〃 25	〃 13	〃 42	〃 100	〃 100							〃 100				

上段：変更後

下段：変更前

(第4表-1-2)

項		土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)			備 考
土 壤 統 (区) 名	目	土 壤 断 面							堆 積 様 式	母 材	事 業 名				
		色	腐 植 層	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土 性					泥 炭 層 黒 泥 層 及 び グ ラ イ 層	区 画 整 理	計		
						表 土		三 層							
						一 層	二 層								
乙部統	強グライ土壤 強粘土斑鉄型 D-31	7.5Y6/1 5GY4/1	含む なし	なし	あり	HC	HC		残積	非固結水成岩	13.6 9.3		13.6 9.3		
石名坂統	グライ土壤 強粘土構造型 E-40	2.5Y4/2 7.5Y4/1 7.5GY4/1	含む なし	なし	あり	LiC	LiC	LiC	残積	非固結水成岩	4.0		4.0		
本町統	灰色土壤 粘土構造型 F-50	10YR2/2 2.5Y3/1 7.5Y4/1	含む	なし	あり	LiC	HC	LiC	水積	非固結水成岩	59.5 62.2		59.5 62.2		
坂口統	灰褐色土壤 強粘土構造型 G-60	5Y5/1 7.5YR3/2 10YR4/3	含む なし	なし	あり	LiC	LiC	LiC	水積	非固結水成岩	13.9 13.3		13.9 13.3		
戸沢統	黄褐色土壤 強粘土型 I-81	2.5Y5/4 10YR5/6 5Y5/4	含む なし	なし	あり	HC	HC	LiC	残積	非固結水成岩	84.3 83.2		84.3 83.2		
沢内太田統	礫層土壤 粘土型 J-91	10YR4/1	含む なし	あり 0~30cm	あり	LiC			水積	非固結水成岩 固結水成岩	10.0 9.9		10.0 9.9		
計											185.3 181.9		185.3 181.9		

該当なし

(第4表-1-3)

事 業 名	区 分	土 壤 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガ リ 浸 食 の 程 度		備 考
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積 (ha)											
	比率 (%)											

上段：変更後  
下段：変更前

2. 土地分類

”  
該当なし

(第4表-2-1)

市町村名	農用地造成										計 (ha)	備考
	一級地 (ha)	二級地				三級地				四級地		
		※ (ha)	3° ~8° (ha)	8° ~ (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	30° 以上 (ha)		
計												

”  
該当なし

(第4表-2-2)

市町村名	干				拓		備考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)		
計							

上段：変更後  
下段：変更前

3. 土地利用の状況

(令和 5年 3月現在)  
(平成30年12月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草放牧地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	そ樹の園 他の地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
区 画 整 理	奥州市	185.3 181.9	// 0.6						// 0.0		1.8 1.4	37.7 37.0	225.4 220.9	
合 計		185.3 181.9	// 0.6						// 0.0		1.8 1.4	37.7 37.0	225.4 220.9	

4. 土地所有の状況

上段：変更後  
下段：変更前

(令和 5年 3月現在)  
(平成30年12月現在)

(第4表-4)

事業名	所有別 区分	〃 ( - ) 個人有 <small>(田、畑、山林、原野)</small>	土地改良区有	市有	県有	国有	- その他 <small>(個人道水路等)</small>	計	備考
区画整理	面積(ha)	188.3 183.7	9.7 9.5	27.2 26.7	〃 -	〃 0.2	- 0.8	225.4 220.9	
	受益者数(人)	129 127						129 127	
	筆数(筆)	2,048 1,966	267 261	654 640	〃 -	〃 2	- 31	2,971 2,900	
	権利関係 備考 (関係戸数)	129 127						129 127	
	面積(ha)								
合	面積(ha)	188.3 183.7	9.7 9.5	27.2 26.7	〃 -	〃 0.2	- 0.8	225.4 220.9	
	受益者数(人)	129 127						129 127	
	筆数(筆)	2,048 1,966	267 261	654 640	〃 -	〃 2	- 31	2,971 2,900	
	権利関係 備考 (関係戸数)	129 127						129 127	
	計								

### 第3節 水利状況

上段：変更後

下段：変更前

#### 1. 用水状況

本地区の用水は、田瀬ダム、一級河川伊手川、普通河川浅井川を水源としている。田瀬ダムより取水後、国営猿ヶ石用水農業水利事業及び県営かんがい排水事業で整備された幹線用水路（白岩用水路、横瀬用水路）からそれぞれの小用水路に導水されている。一級河川伊手川からの用水は、石名田頭首工、水の口頭首工、向田頭首工、隼頭首工、砂子田頭首工にて取水され、それぞれの小用水路に導水されている。普通河川浅井川からの用水は、取水工にて取水され小用水路に導水されている。

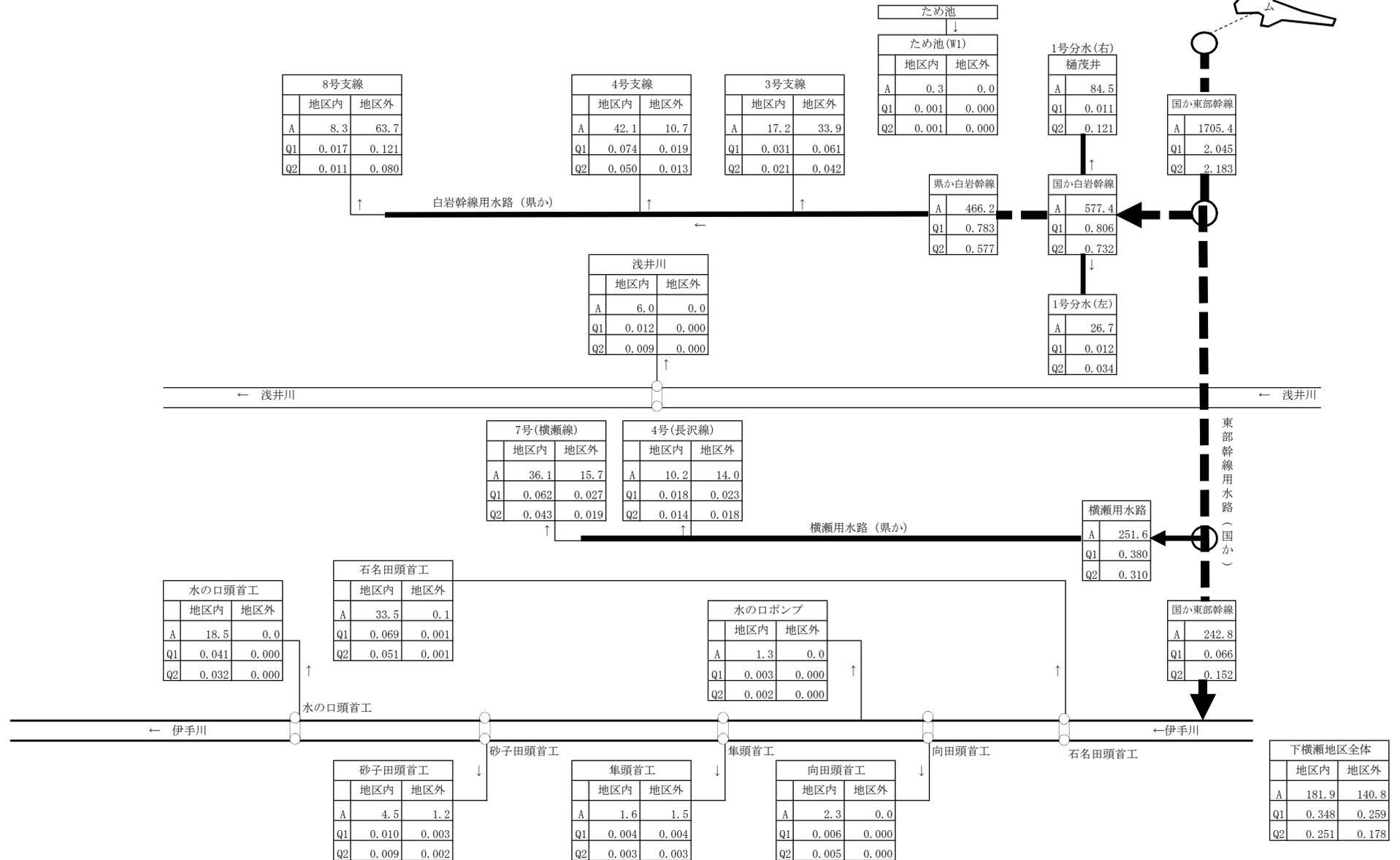
地区内の小用水路は、維持管理事業等で所々舗装されているが、ほとんどが土水路で、用排兼用となっている。そのため、土壌浸透による用水の損失や、法面の崩落等による通水障害も生じており、水管理及び維持管理等に多大な労力と経費を費やしている。

#### (1) 用水系統

次頁参照

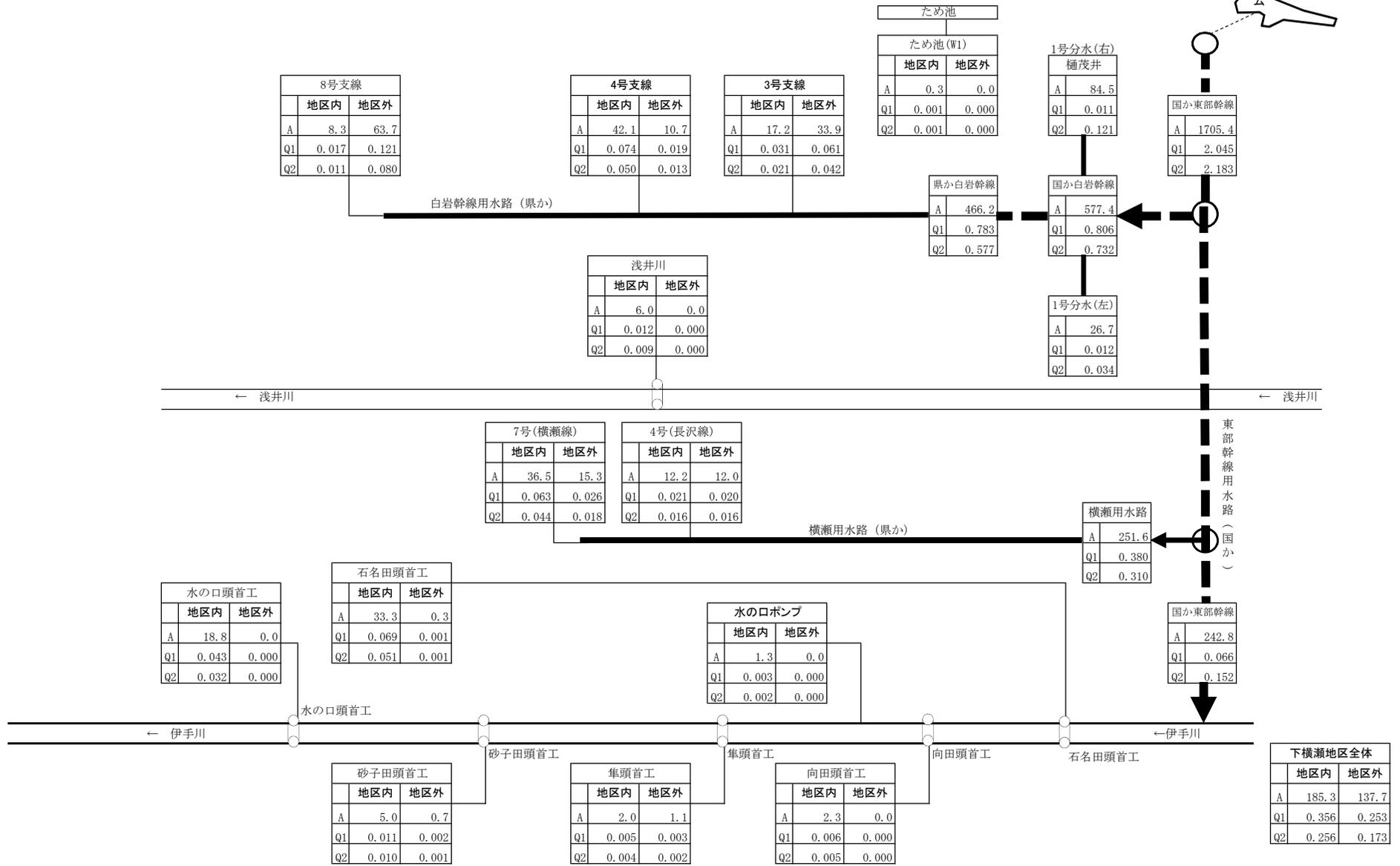
下横瀬地区 現況用水系統図 (輪換耕地の場合)

変更前



下横瀬地区 現況用水系統図（輪換耕地の場合）

変更後



(2) 用水施設

上段：変更後

下段：変更前

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延取水量	備考
		500ha以上		500~100ha		100ha未満		箇所	ha	箇所	m <sup>3</sup> /s	箇所	m <sup>3</sup> /s	m <sup>3</sup> /s	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
区 画 整 理	貯水池					〃	〃	〃	〃	-	-	〃	〃	〃	〃
	井堰					〃	68.7	〃	68.7	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	自然取水口														
	揚水機														
	その他					〃	116.3	〃	116.3	〃	〃		〃	〃	〃
	計					〃	185.3	〃	185.3	〃	〃	〃	〃	〃	〃
合計					〃	185.3	〃	185.3	〃	〃	〃	〃	〃	〃	

上段：変更後  
下段：変更前

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
区 画 整 理	貯水池							
	井堰							
	自然取水口							
	揚水機							
	用水路	// 10	185.3 181.9	// 土水路	// 土水路	// S35~S56	// 区画整理	
	その他							
	計		185.3 181.9					
合計		185.3 181.9						

(3) 用水に関する被害状況

上段：変更後  
下段：変更前

(ア) 用水不足による被害状況 // 該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m <sup>3</sup> )	不足水量				平均減産量 (t)	平均 維持管理費 (千円)	備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量				
				平均(m <sup>3</sup> /s)	基準年(m <sup>3</sup> /s)	平均(m <sup>3</sup> /s)	基準年(m <sup>3</sup> /s)			
	計									
合計										

(イ) その他の被害状況

// 該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(°C)		被害量 (t)	備考
			最高	最低		

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

上段：変更後  
下段：変更前

//  
該当なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						人命 (人)	備考	
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計			
計													
合計													

上段：変更後  
下段：変更前

## 2. 排水状況

本地区の排水は、地区内の小排水路を流下し、一級河川伊手川及び普通河川浅井川へ排水される。

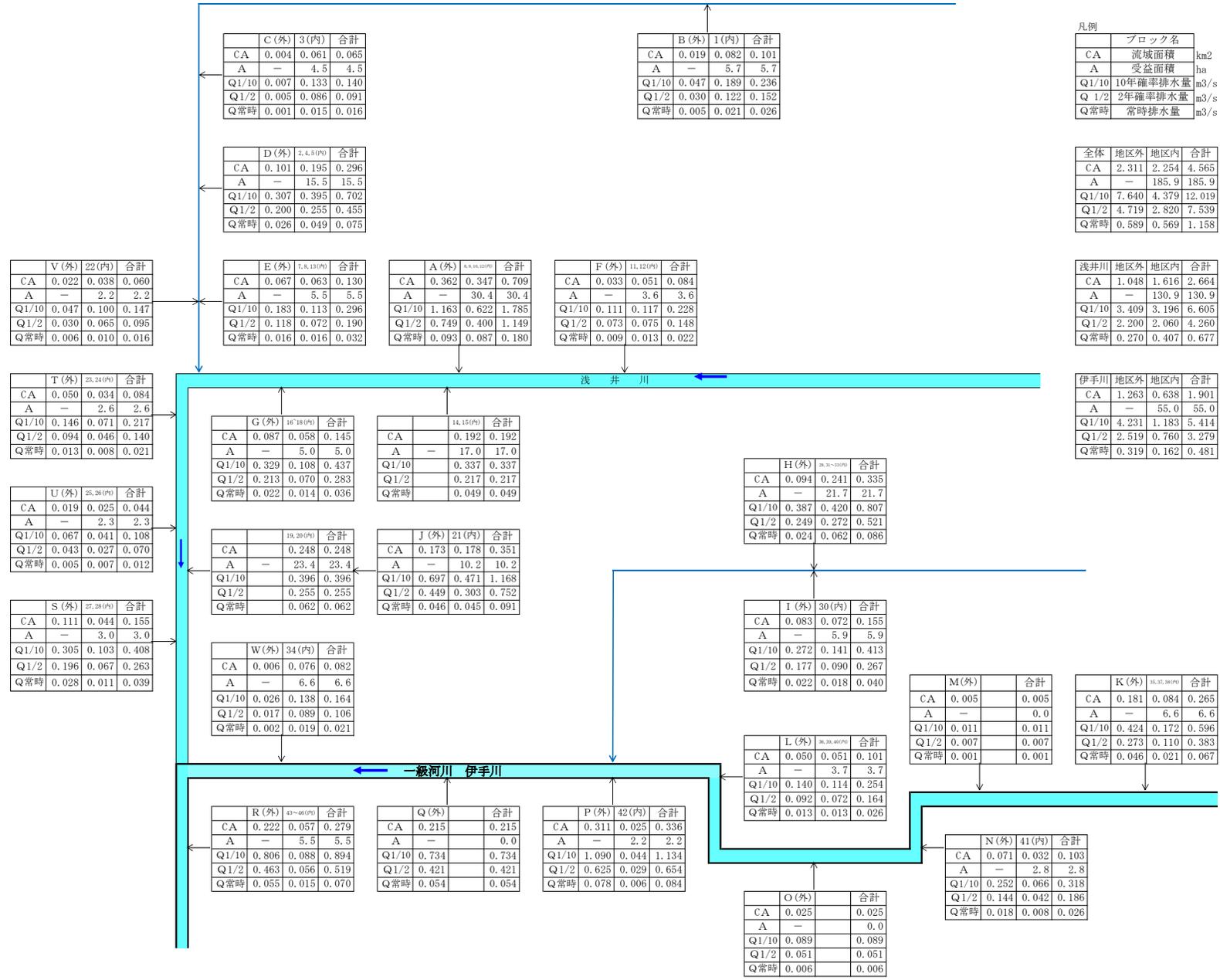
地区内の小排水路は、土水路で用排兼用となっており、水路底が浅く、表面水のみが排水可能な状況であるため、水田の汎用化が行えない状況となっている。また、法面の崩落等による通水障害も生じており、維持管理に多大な労力と経費を費やしている。

### (1) 排水系統

次頁参照



下横瀬地区 現況排水系統模式図 変更後



凡例

ブロック名		
CA	流域面積	km2
A	受益面積	ha
Q1/10	10年確率排水量	m3/s
Q1/2	2年確率排水量	m3/s
Q常時	常時排水量	m3/s

全体	地区外	地区内	合計
CA	2.311	2.254	4.565
A	—	185.9	185.9
Q1/10	7.640	4.379	12.019
Q1/2	4.719	2.820	7.539
Q常時	0.589	0.569	1.158

浅井川	地区外	地区内	合計
CA	1.048	1.616	2.664
A	—	130.9	130.9
Q1/10	3.409	3.196	6.605
Q1/2	2.200	2.060	4.260
Q常時	0.270	0.407	0.677

伊手川	地区外	地区内	合計
CA	1.263	0.638	1.901
A	—	55.0	55.0
Q1/10	4.231	1.183	5.414
Q1/2	2.519	0.760	3.279
Q常時	0.319	0.162	0.481

## (2) 排水施設

上段：変更後

下段：変更前

## (ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計	排水慣行 (m <sup>3</sup> /s)	現況排水能力 (m <sup>3</sup> /s)	備考		
			500ha以上		500~100ha		100ha未満							
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha						
区画整理	自然	排水路					〃	185.9	〃	185.9		〃	P17-1現況排水系統模式図の合計欄数値より	
		水門						46	182.5	46	182.5			P17現況排水系統模式図の合計欄数値より
	機械	排水機												
		水門及び排水機												
		排水路及び排水機												
		計					〃	185.9	〃	185.9		12.019	〃	
	合計					〃	185.9	〃	185.9		12.019	〃		

## (イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目 施設名		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
水門									
機械	排水機								
	水門及び排水機								
	排水路及び排水機								
	計	〃 46	185.9 182.5						
	合計	〃 46	185.9 182.5						

(3) 排水に関する被害状況

上段：変更後  
下段：変更前

//  
該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量 (t)	平均維持 管理費 (千円)	備考	
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m³)	田		畑		その他					
	乾							湿	乾	湿	乾	湿					
		平均															
		基準年															
		平均															
		基準年															
		平均															
		基準年															
		平均															
		基準年															
	計	平均															
		基準年															
	合計	平均															

3. 河川状況

上段：変更後  
下段：変更前

(1) 河川の現況

//  
該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	安全洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	既往最大洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

//  
該当なし

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (千円)	農用施設 (千円)	作物 (千円)	公共施設 (千円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

上段：変更後

下段：変更前

## 第4節 道路概況

### 1. 道路概況

県道玉里水沢線が本地区の中央を南北に縦断し、県道岩明岩谷堂線が地区中央を東西方向に横断しており、これらが本地区の基幹道路として位置付けられる。

ほ場内にある耕作道は、砂利道であり、幅員もほとんどが2 m程度と狭小で、大型農業機械の通行や農作物の円滑な搬出に支障をきたしている状況である。

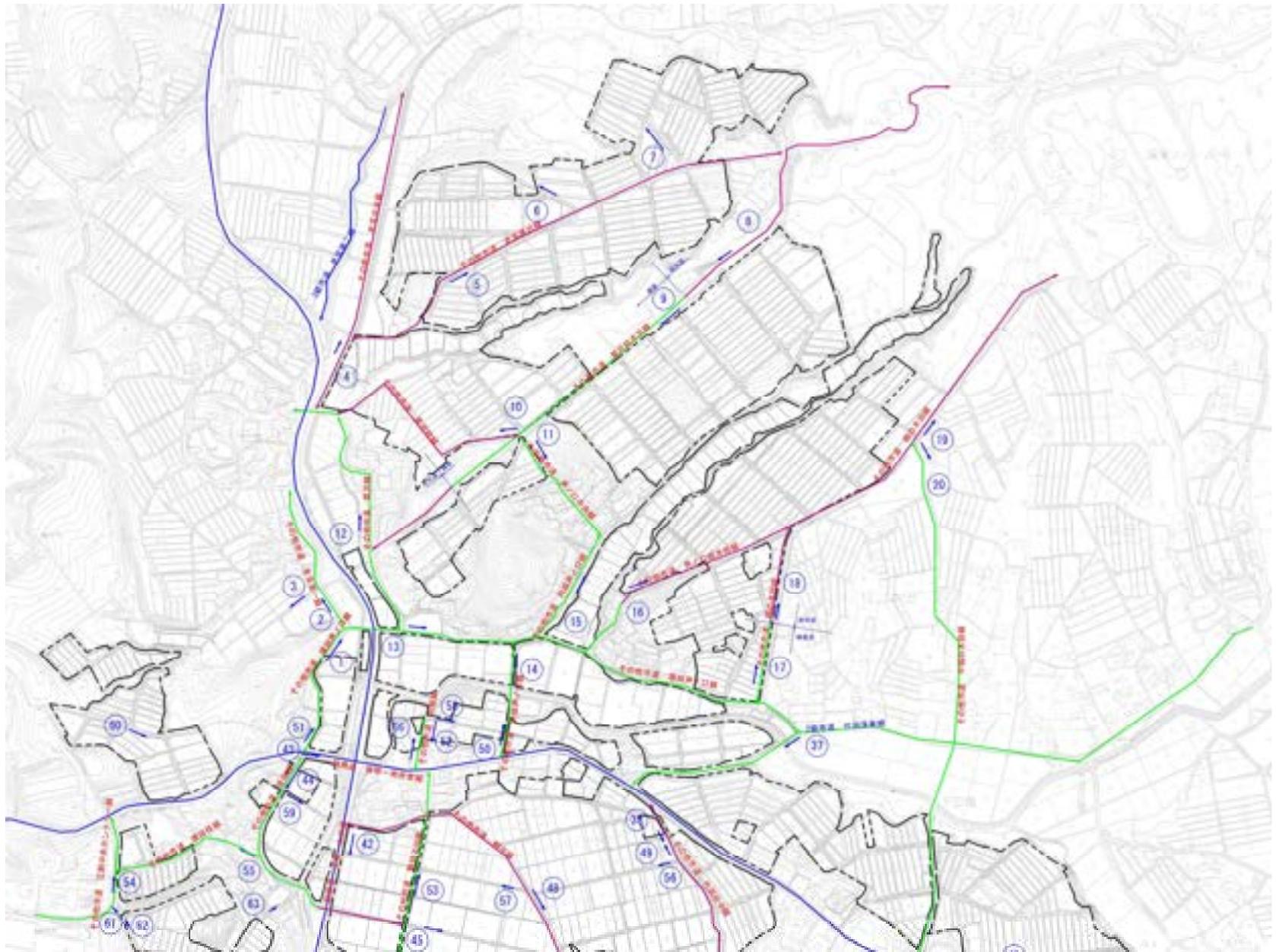
2. 主要道路一覧表

No.	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備考 (次頁路線番号)
				全	幅(有効)			
1	一般県道玉里水沢線	岩手県	—	10.8	(10.0)	アスファルト	否	42
2	一般県道岩明岩谷堂線	〃	—	13.8	(13.0)	アスファルト	否	43
3	藤里口内線	奥州市	240	7.0		アスファルト	否	33
4	竹洞浅倉線	〃	320	5.0		アスファルト	否	37
5	原体日照田線	〃	100	5.0		アスファルト	否	27
6	江刺中央カントリー線	〃	140	7.0	(6.0)	アスファルト	否	54
7	境田線	〃	400	5.0	(4.0)	アスファルト	否	44
8	野平線	〃	315	3.5	(3.0)	アスファルト	要	21
9	〃	〃	333	3.0	(2.0)	アスファルト	要	47
10	〃	〃	554	3.0	(2.0)	砂利	要	48
11	田中二日市線	〃	629	3.5	(3.0)	アスファルト	要	23
12	〃	〃	204	3.5		アスファルト	要	26
13	砂子田線	〃	316	7.7		アスファルト	否	35
14	二日市幕内線	〃	147	3.5		砂利	要	30
15	〃	〃	338	6.0		アスファルト	否	31
16	下長沢線	〃	429	5.2		アスファルト	否	32
17	境田芦ノ口線	〃	14	3.0	(2.0)	アスファルト	要	1
18	〃	〃	839	5.5	(4.5)	アスファルト	要	13
19	〃	〃	225	3.5	(2.5)	アスファルト	要	51
20	向畑芦ノ口線	〃	92	3.5	(2.5)	アスファルト	要	14

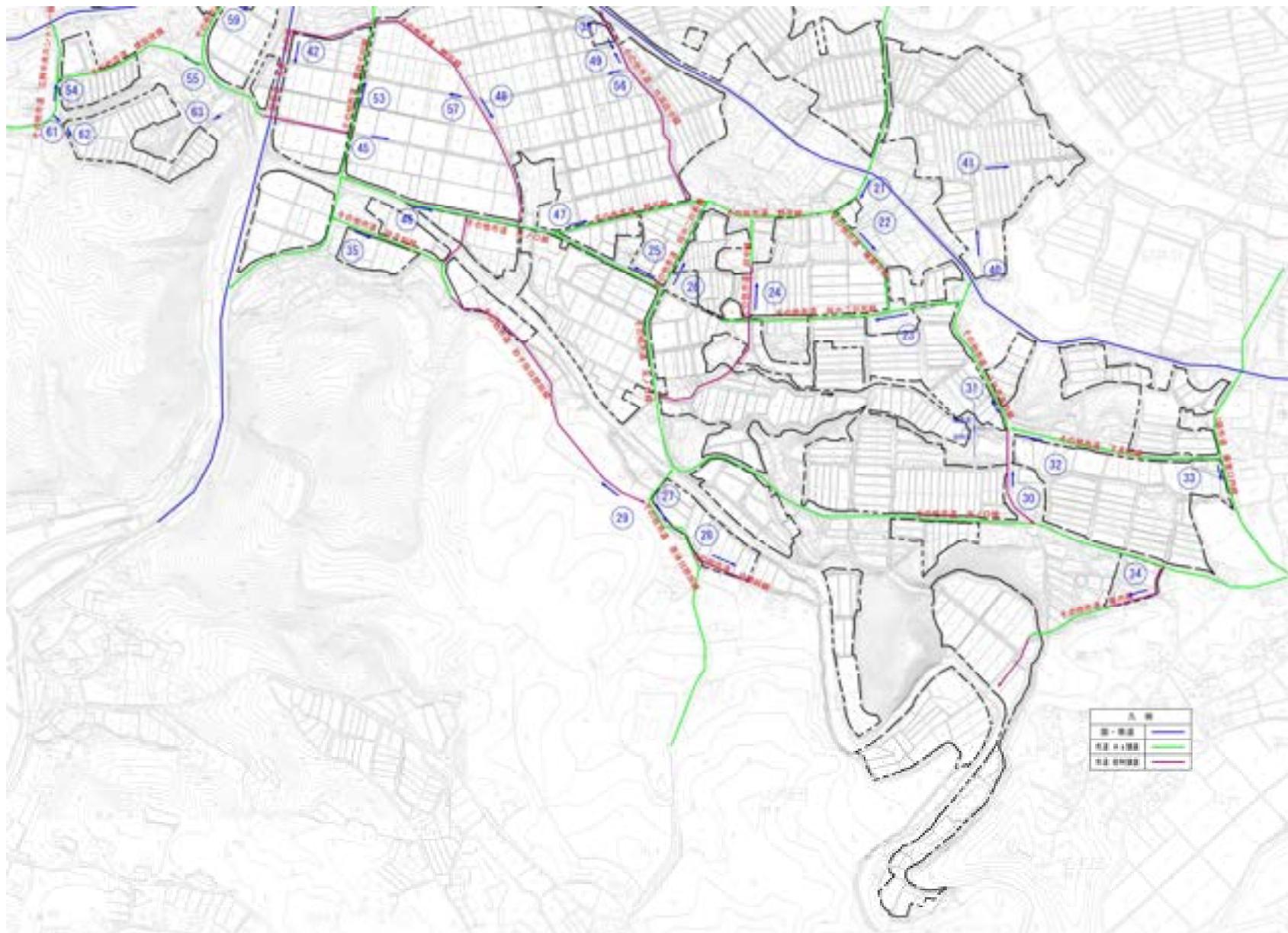
No.	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備考 (次頁路線番号)
				全	幅(有効)			
21	// 向畑芦ノ口線	//	// 260	//	// 5.0 (4.0)	// アスファルト	// 要	// 15
22	//	//	// 128	//	// 4.0 (3.0)	// アスファルト	// 要	// 50
23	// 榎の木田線	//	// 171	//	// 4.0 (3.0)	// アスファルト	// 否	// 17
24	//	//	// 210	//	// 4.0	// 砂利	// 要	// 18
25	//	//	// 442	//	// 4.0	// 砂利	// 要	// 19
26	// 平榎の木田線	//	// 318	//	// 4.0	// アスファルト	// 否	// 20
27	// 巽沢柏木沢線	//	// 247	//	// 4.0	// 砂利	// 要	// 8
28	//	//	// 799	//	// 4.0 (3.0)	// アスファルト	// 否	// 9
29	// 芦ノ口中央線	//	// 96	//	// 6.0 (5.0)	// アスファルト	// 否	// 11
30	// 芦ノ口榎木田線	//	// 514	//	// 3.0	// 砂利	// 要	// 16
31	// 境田枝線	//	// 162	//	// 3.5 (2.5)	// アスファルト	// 要	// 55
32	// 向畑線	//	// 64	//	// 3.5	// アスファルト	// 要	// 36
33	//	//	// 26	//	// 3.5 (2.5)	// アスファルト	// 要	// 52
34	// 竹洞田中線	//	// 131	//	// 3.0	// 砂利	// 要	// 38
35	//	//	// 310	//	// 3.0 (2.0)	// 砂利	// 要	// 49
36	// 田中線	//	// 494	//	// 3.0	// 砂利	// 要	// 24
37	// 日照田線	//	// 99	//	// 2.5	// 砂利	// 要	// 28
38	// 水ノ口線	//	// 702	//	// 5.0 (4.0)	// アスファルト	// 否	// 25
39	//	//	// 1418	//	// 5.0 (4.0)	// アスファルト	// 否	// 46
40	// 幕内線	//	// 167	//	// 3.0	// 砂利	// 要	// 34

No.	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員(m)	構造	改修の要否	備考 (次頁路線番号)
				全幅(有効)			
41	野砂子田線	奥州市	641	5.0 (4.0)	アスファルト	否	53
42	砂子田日照田線	〃	150	3.5	砂利	要	29
43	藤里平線	〃	235	4.0 (3.0)	アスファルト	否	22
44	老耳第一線	〃	—	5.0 (4.0)	アスファルト	否	2
45	巽沢線	〃	197	5.0 (4.0)	アスファルト	否	12
46	老耳中央線	〃	161	3.0 (2.5)	砂利	要	4
47	巽沢枝線	〃	470	3.5	砂利	要	10
48	老耳巽沢線	〃	736	4.0	砂利	要	5
49	農道	〃	327	2.5	砂利	要	45
50	農道	〃	313	3.0	砂利	要	56
51	農道	〃	226	2.5	砂利	要	57
52	農道	〃	238	2.5	砂利	要	58
53	農道	〃	105	2.5	砂利	要	59
54	農道	〃	318	3.0	砂利	要	60
55	農道	〃	277	4.0	砂利	要	61
56	農道	〃	275	3.0	砂利	要	62
57	農道	〃	128	3.0	アスファルト	要	63
58	農道	〃	—	3.0	砂利	要	3
59	農道	〃	136	4.0	砂利	要	6
60	農道	〃	421	3.5	砂利	要	7
61	農道	〃	475	3.5	砂利	要	40
62	農道	〃	224	2.5	砂利	要	41

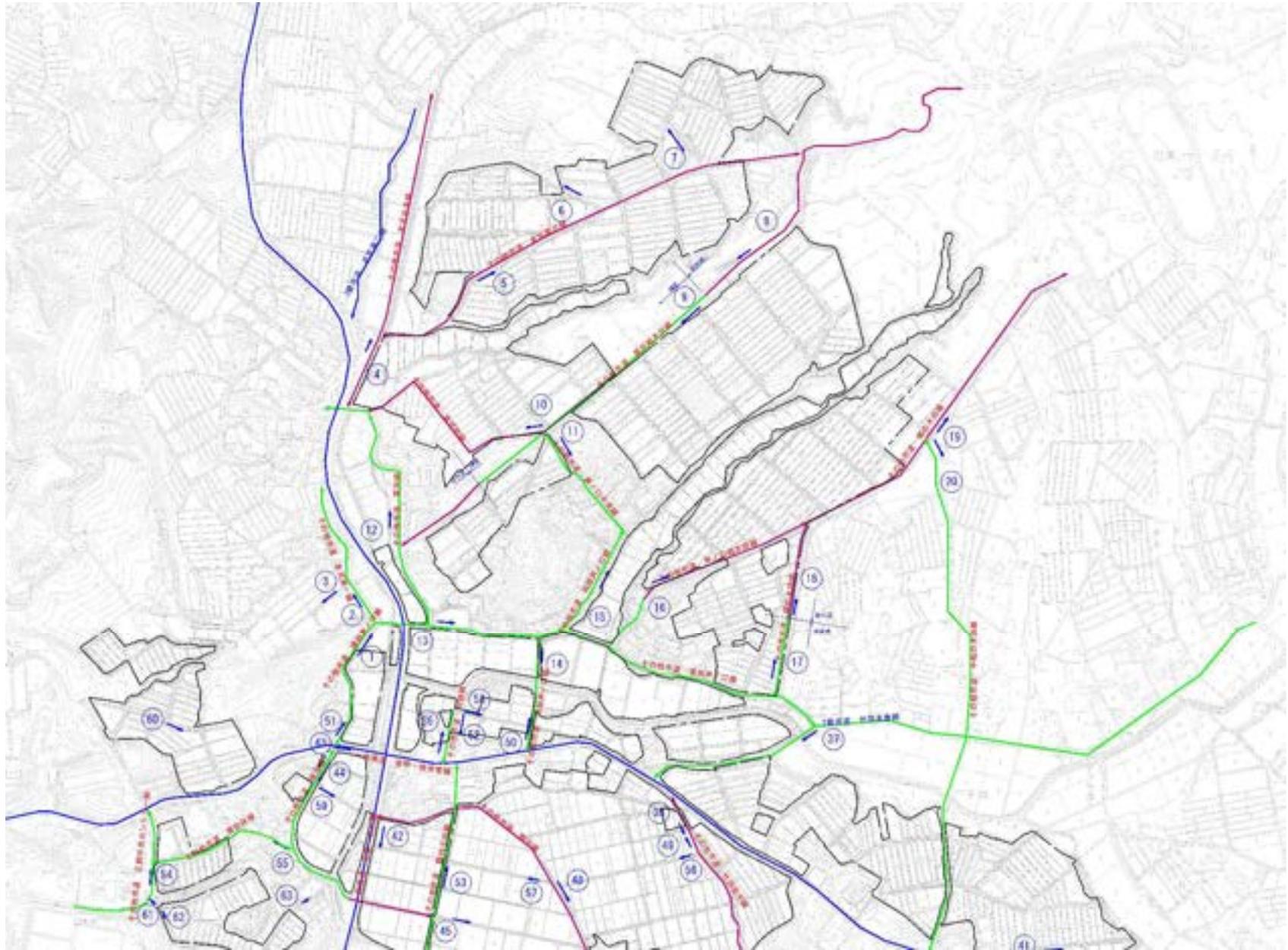
現況道路網図 (1/2) 変更前



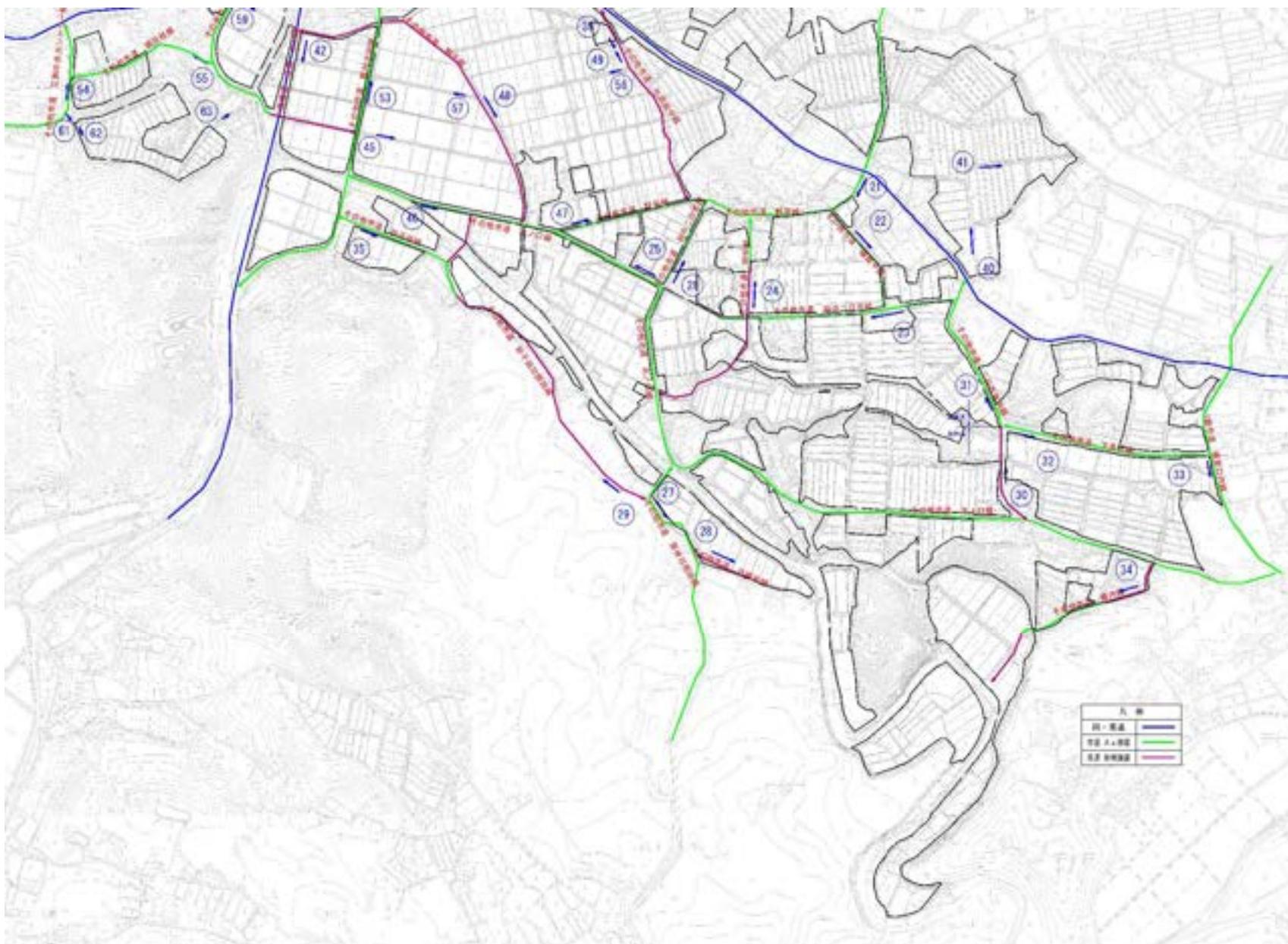
現況道路網図 (2/2) 変更前



現況道路網図 (1/2) 変更後



現況道路網図 (2/2) 変更後



## 第5節 地域農業の概況

### 1. 産業別就業人口

上段：変更後

下段：変更前

(岩手県統計年鑑(R2国勢調査))

(岩手県統計年鑑(H27国勢調査))

(第7表-1)

項目 市町村名	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス熱 供給水道業	運 輸 通信業	卸売小売業 飲食店	金 融 保険業	不動産業	サービス業	公 務	その他	備考
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
〃	60,273	7,328	152	4	12	4,979	11,969	229	2,817	7,577	851	597	9,602	1,663	12,493	
奥州市	61,595	8,667	146	3	29	5,438	12,111	261	2,872	8,456	949	576	10,363	1,704	10,020	
計	60,273 61,595	7,328 8,667	152 146	4 3	12 29	4,979 5,438	11,969 12,111	229 261	2,817 2,872	7,577 8,456	851 949	597 576	9,602 10,363	1,663 1,704	12,493 10,020	
比率(%)	〃 100%	12% 14%	〃 0%	〃 0%	〃 0%	8% 9%	〃 20%	〃 0%	〃 5%	〃 13%	1% 2%	〃 1%	16% 17%	〃 3%	21% 16%	

上段：変更後  
下段：変更前

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(2020農林業センサス)  
(2015農林業センサス)

(第7表-2)

区分 市町村名	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)										一戸当たり 平均農用地面積 (ha)						耕地の 分散状況		専兼業別 農家数 (戸)			備考
		経営耕地なし	～	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	その他	計	一戸当たり団地数	団地当たり面積 (ha)	専業	兼業		
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	以上											第一種	第二種	
〃 奥州市	8,121 10,189	- 18	- 1,019	- 2,272	- 1,543	- 1,028	- 1,003	- 534	- 264	- 110	2,109 2,398	1.64 1.53	〃 0.18	〃 0.03	1.85 1.74	0.08 0.00	1.93 1.74	〃 -	〃 -	- 1,851	- 807	- 5,133	
計	8,121 10,189	- 18	- 1,019	- 2,272	- 1,543	- 1,028	- 1,003	- 534	- 264	- 110	2,109 2,398	1.64 1.53	〃 0.18	〃 0.03	1.85 1.74	0.08 0.00	1.93 1.74			- 1,851	- 807	- 5,133	
比率	〃 100%	- 0%	- 10%	- 22%	- 15%	- 10%	- 10%	- 5%	- 3%	- 1%	26% 23.5%	85% 88%	9% 10%	〃 2%	96% 100%	4% 0%	〃 100%	〃 -	〃 -	23.7% 23.7%	10.4% 10.4%	65.9% 65.9%	

上段：変更後  
下段：変更前

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(2020農林業センサス)

(2015農林業センサス)

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜						備考
	耕うん機及びトラクター		動力防除機		動力田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	
〃 奥州市	- 8,132	- 6,579	〃 -	〃 -	- 5,623	- 5,385	- 3,256	- 3,068	735 943	25 35	15,854 12,672	683 946	- 9,660	4 3	
計	- 8,132	- 6,579	〃 -	〃 -	- 5,623	- 5,385	- 3,256	- 3,068	735 943	25 35	15,854 12,672	683 946	- 9,660	4 3	
100戸当たり 数量 (台、頭)	- 80	-	〃 -	-	- 55	-	- 32	-	〃 9	-	195 124	-	- 95	農家戸数 8,121戸 10,189戸	
利用戸数 割合 (%)	- 65%	-	〃 -	-	- 53%	-	- 30%	-	〃 0%	-	8% 9%	-	〃 0%		

4. 主要作物作付状況

上段：変更後  
下段：変更前

(2020農林業センサス)  
(2015農林業センサス)

(第7表-4)

市町村名		奥州市		計		平均		備考
総耕地面積(ha)		19,800 19,900		19,800 19,900		19,800 19,900		
区分		作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付率 (%)
作物名								
田	表作	10,300	〃			10,300	〃	80
	裏作	10,600	558			10,600	558	78
	小計	10,300 10,600	/			10,300 10,600	/	80 78
普通畑	春	麦類(小麦他)	107 232	162 182		107 232	162 182	1 2
		豆類(大豆他)	1,400 1,074	141 184		1,400 1,074	141 184	11 8
	夏	野菜類(なす他)	200 198	4,867 4,927		200 198	4,867 4,927	2 1
		花き類・花木(りんどう他)	71 51	2,190 2,221		71 51	2,190 2,221	〃 0
	畑	牧草	- 619	2,650 3,527		- 619	2,650 3,527	〃 5
		その他	597 536			597 536		5 4
	計	2,375 2,710	/			2,375 2,710	/	18 20
	樹園地	果樹類(りんご他)	265 255			265 255		〃 2
小計		265 255	/		265 255	/	〃 2	
計	12,940 13,565	/			12,940 13,565	/	〃 100	
市町村別 延べ作付率(%)		65 68	/			65 68	/	

〃  
単収(1000本/10a)

5. 農業の動向

(2020農林業センサス)  
(2015農林業センサス)

上段：変更後  
下段：変更前

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			主 要 家 畜			動 力 農 機 具			その他	地 域 指 定 等	備 考
		B (H27) (H22)	A (R2) (H27)		B (H27) (H22)	A (R2) (H27)	作物名	B (H27) (H22)	A (R2) (H27)	家畜名	B (H27) (H22)	A (R2) (H27)	農機具名	B (H27) (H22)	A (R2) (H27)			
変化の 状 況 (C年を100 とする指数)	総農家数	87 90	70 79	耕地	87 91	78 80	水 稻	100 96	100 97	乳用牛	47 105	33 50	耕耘機 トラクター	88 87	- 77	農 振 // S45.3 過 疎 // H18.2 山 振 // S44.12 特農指定 // H5.9	A:令和2年 (2020) A:平成27年 (2015) B:平成27年 (2015) B:平成22年 (2010) C:平成22年 (2010) C:平成17年 (2005)	
	専業農家数	99 118	- 117	田	88 90	98 79	野菜類	77 83	78 79	肉用牛	69 78	50 54	動力田植機	83 82	- 69			
	第1種兼業 農 家 数	58 85	- 50	畑	75 102	80 82	麦 類	116 103	76 119	豚	37 50	50 18	コンバイン	96 80	- 77			
	第2種兼業 農 家 数	82 80	- 66	樹園地	96 99	105 96	豆 類	97 172	124 165	採卵鶏	71 107	50 76	動力防除機	// -	// -			
	農 業 従事者数	75 163	54 122	草地	81 -	85 -	花 類	78 86	109 68									
変化の 理 由	総農家数、農業従事者は減少している。  農地集積や担い手対策の推進、認定農業者や法人組織育成の取り組みの成果が出始めている。			//  農地転用が進行している。			水稻は、耕地面積が横ばいである。また、転作農地の有効利用は大豆が増加している。  水田畑利用が推進されている。一方で農地が減少している。			//  畜産農家が減少している。			-  農作業の省力化を図るため、大型トラクター、コンバインの導入が進んでいる。					

第6節 地域環境の概況

//

本地区は田園風景と自然環境が調和し、地域住民に潤いと安らぎの場を提供している。また、地域内には、「環境省レッドリスト」及び「いわてレッドデータブック」に登載されている希少動植物の生育・生息が確認されている。

## 第4章 一 般 計 画

上段：変更後  
下段：変更前

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要 旨

本地区は、昭和30年代～50年代に耕地整備されているものの、区画規模は10a～20a程度と小区画であるうえ、農道の幅員もほとんどが2m程度と狭小で、大型機械の通行が困難であることから、効率的な営農の展開が不可能な状態となっている。また、地区内の小用排水路のほとんどが土水路となっており、維持管理に多大な労力を費やしている。

このため本事業では、A=174.6ha<sup>176.9</sup>に対し区画整理を行い標準区画30a及び1haのほ場を整備する。また、農道は支線道路L=32.0kmを標準幅員5mの敷砂利舗装に、用水路はL=34.1km<sup>35.1</sup>をパイプラインにて整備する。排水路はL=26.8km<sup>27.9</sup>を鉄筋コンクリート二次製品にて整備するとともに、暗渠排水A=162.2ha<sup>176.7</sup>を併せ行い乾田化を図る。

これらの整備により、営農及び維持管理等の省力化を図ると共に、担い手への農地集積を一体的に推進して、農業経営の安定化を図るものである。

#### 2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	区画整理																		計 (ha)	備 考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	(ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	(ha)	小計 (ha)		
区画整理	176.7 174.4	# 0.2			48.5 46.3	225.4 220.9													225.4 220.9	
計	176.7 174.4	# 0.2			48.5 46.3	225.4 220.9													225.4 220.9	

上段：変更後  
下段：変更前

## 第2節 営農計画及び土地利用計画

### 1. 営農計画の概要

”

農業経営の安定化を図るため、担い手に農地の利用集積・集約化を進め、主食用米を中心としつつ、土地利用型の転作作物を作付する。また、農家所得の向上に向け、園芸作物の作付拡大を図る。

### 2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	現況	185.3	”	”	”	”	”	185.9	1.8	”	37.7	225.4	
		181.9	0.6	-	-	-	-	182.5	1.4	0.0	37.0	220.9	
	計画	176.7	”	”	”	”	”	176.9	”	”	48.5	225.4	
		174.4	0.2	-	-	-	-	174.6	-	-	46.3	220.9	
計	現況	185.3	”	”	”	”	”	185.9	1.8	”	37.7	225.4	
		181.9	0.6	-	-	-	-	182.5	1.4	0.0	37.0	220.9	
	計画	176.7	”	”	”	”	”	176.9	”	”	48.5	225.4	
		174.4	0.2	-	-	-	-	174.6	-	-	46.3	220.9	





上段：変更後  
下段：変更前

5. 労働改善計画

（計画本地率 水田：87.9%） （第9表-4）

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
区画整理	水田	" 水稻	4.8	人 力	"	"	"	小区画 → 中区画 湿田(個別) → 乾田(No. 1-1)
			4.7		35.9	22.1	△ 13.8	
		" 水稻	機 械 力	"	"	"	"	
				49.7	18.7	△ 31.0		
		" 水稻	人 力	3.5	"	9.4	△ 26.5	小区画 → 大区画 湿田(担い手) → 乾田(No. 1)
				3.4	35.9	9.5	△ 26.4	
		" 水稻	機 械 力	"	"	10.7	△ 39.0	
				49.7	10.8	△ 38.9		
		" 水稻	人 力	23.9	"	6.6	△ 29.3	小区画 → 大区画 湿田(担い手) → 乾田(No. 2)
				23.6	35.9	6.7	△ 29.2	
		" 水稻	機 械 力	"	"	"	"	
				49.7	8.1	△ 41.6		
		" 水稻	人 力	14.1	"	6.3	△ 29.6	小区画 → 大区画 湿田(組織) → 乾田(No. 3)
				14.0	35.9	6.4	△ 29.5	
" 水稻	機 械 力	"	"	"	"			
		49.7	7.8	△ 41.9				
" 水稻	人 力	52.2	"	6.3	△ 23.1	小区画 → 大区画 湿田(組織) → 乾田(No. 3)		
		51.6	29.4	6.4	△ 23.0			
" 水稻	機 械 力	"	"	"	"			
		38.1	7.8	△ 30.3				
" 大豆	人 力	54.2	"	"	"	小区画 → 大区画 湿田(組織) → 乾田(No. 27)		
		53.5	12.5	4.2	△ 8.3			
" 大豆	機 械 力	"	"	"	"			
		26.8	9.8	△ 17.0				
計			152.7					
合計			152.7					
			150.8					
			150.8					

6. 級地別土地利用区分

上段：変更後  
下段：変更前

”  
該当なし

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成 (ha)					干拓 (ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草地)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
	その他											
	計											

7. 土地配分計画

”  
該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)								備考
		田	輪換耕地	畑			計			
				普通畑	牧草地	樹園地				
増反		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
入植		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	

### 第3節 用水計画

上段：変更後

下段：変更前

#### 1. 計画基準年

〃  
昭和60年

〃  
「猿ヶ石用水事業誌（国か）」「新農業水利システム保全整備事業白岩地区事業成績書」「新農業水利システム保全整備事業横瀬地区事業成績書」「北上川水系猿ヶ石川における水利利用について（通知）」より。

#### 2. 計画かんがい方式

〃  
水田（水稲） パイプライン送水による湛水かんがい方式

〃  
かんがい期間 4月26日～9月5日 133日間

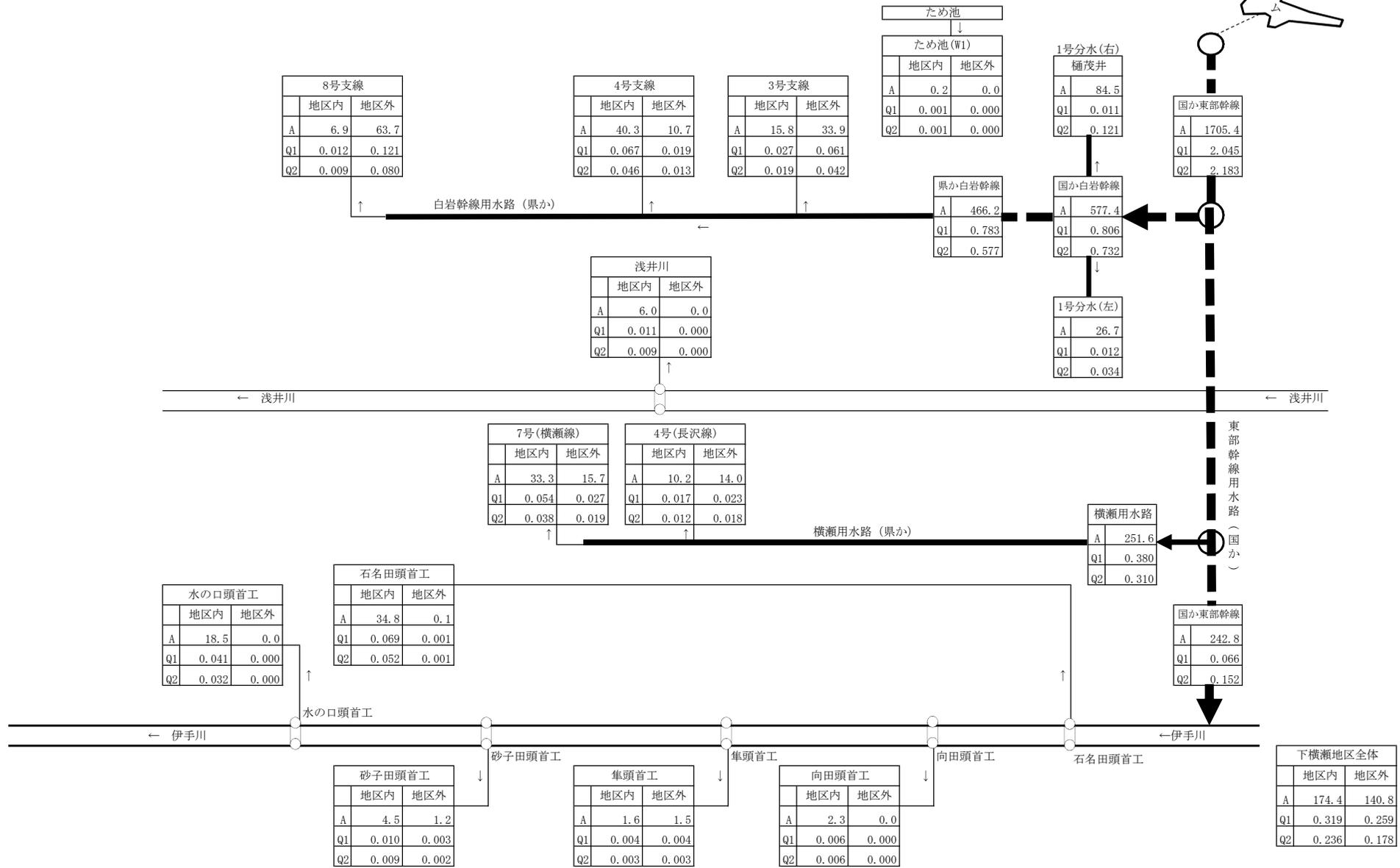
〃  
(代掻き期間4月26日～5月10日 15日間)

#### 3. 計画用水系統

〃  
次頁参照

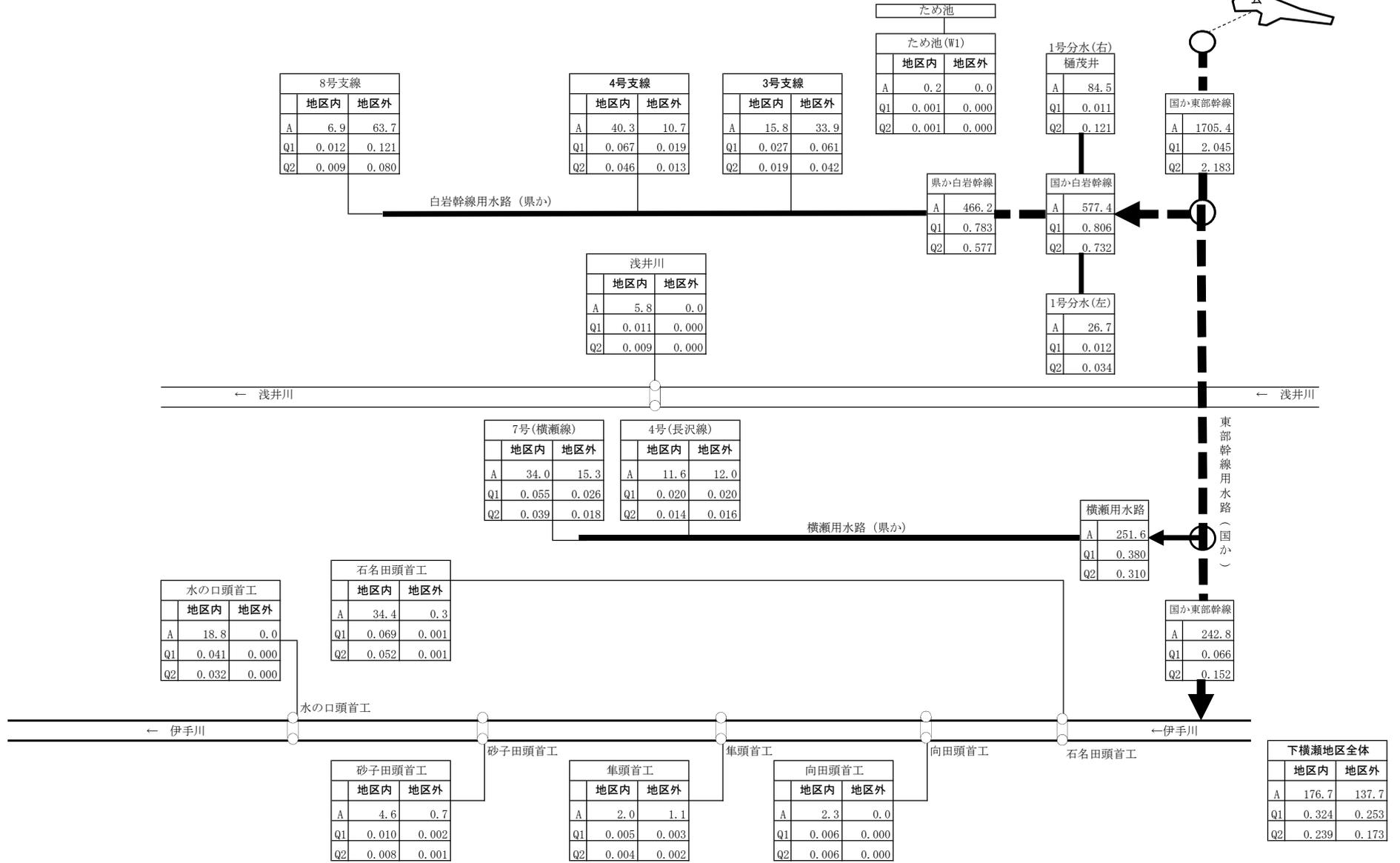
下横瀬地区 計画用水系統図（輪換耕地の場合）

変更前



下横瀬地区 計画用水系統図 (輪換耕地の場合)

変更後



4. 計画用水量

上段：変更後

下段：変更前

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)			水田かんがい			畑利用戻り水田かんがい			畑地かんがい			その他		消費水量 (m <sup>3</sup> /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考	
		事業名			普通期	代かき期	面	普通期	代かき期	面	一平均 日当たり 計画深	平均 間断 日数	面	計平均 単位用 水量	面			平	最		
		区 画 整 理	地 区 外	計	計単 画位 用平 均量 (mm/日)	計単 画位 代用 か水 き量 (mm)	積 (ha)	計単 画位 用平 均量 (mm/日)	計単 画位 代用 か水 き量 (mm)	積 (ha)	(mm/日)	(日)	積 (ha)	(mm/日)	積 (ha)			(m <sup>3</sup> /s)	(m <sup>3</sup> /s)		(m <sup>3</sup> /s)
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	
白岩幹線	田瀬ダム	63.0	108.3	171.3	14	110	46.2	15	127	62.5	3	62.5			0.095	10	0.074	0.106			
"	"	45.6	27.3	72.9	"	"	"	"	"	26.6	"	26.6			0.068	"	0.053	0.075			
横瀬用水路	田瀬ダム	43.5	29.7	73.2	14	110	19.8	15	127	26.7	3	26.7			0.064	10	0.050	0.071			
"	"	62.1	2.1	64.2	"	"	"	"	"	23.4	"	23.4			0.118	"	"	0.131			
伊手川	伊手川	61.7	2.8	64.5	16	115	17.4	17	132	23.6	3	23.6			0.117	10・15	0.102	0.130			
"	"	5.8	"	5.8	"	"	"	"	"	2.1	"	2.1			"	"	"	"			
浅井川	浅井川	6.0		6.0	14	110	1.6	15	127	2.2	3	2.2			0.010	10	0.009	0.011			
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"			"	"	"	"			
ため池	ため池	0.2		0.2	14	110	0.1	15	127	0.1	3	0.1			0.001	10	0.001	0.001			
計		176.7 174.4	137.7 140.8	314.4 315.2			" 85.1			114.7 115.1		114.7 115.1			0.292 0.287		0.239 0.236	0.324 0.319			

(2) 営農飲雑用水

上段：変更後

下段：変更前

//  
該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当たり給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名			単位給水量	最大給水量			
				計	(ℓ/日)	(ℓ/日)			

5. 水源計画

上段：変更後

下段：変更前

(1) 水利用計画

有効雨量 水田(水稻)：5mm/日～80mm/日の80%  
 (畑利用)：－  
 TRAM 水田(畑利用)：－mm  
 間断日数 水田(畑利用)：－日  
 かんがい効率 水田(水稻)：85、90%  
 水田(畑利用)：－%

(第10表-2)

項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
					a (千m <sup>3</sup> )	b (千m <sup>3</sup> )	c=a-b (千m <sup>3</sup> )	d=c/(1-α) (千m <sup>3</sup> )	e (千m <sup>3</sup> )	f (千m <sup>3</sup> )	g=c-f (千m <sup>3</sup> )		
区分													0.10・0.15
		858		858	988	白岩幹線	988	858				田瀬ダム	地区外含む
	区面整理	622		622	706	〃	706	622				〃	〃
		586		586	666	横瀬用水路	666	586				田瀬ダム	地区外含む
		1,206		1,206	1,342	〃	1,342	1,206				〃	〃
		1,204		1,204	1,341	伊手川	1,341	1,204				頭首工	地区外含む
		〃		〃	〃	〃	〃	〃				〃	〃
		106		106	118	浅井川	118	106				頭首工	〃
		〃		〃	〃	〃	〃	〃				〃	〃
		12		12	13	ため池	13	12				ため池	〃
	2,804		2,804	3,167			3,167	2,804					※消費水量は期別用水量とかんがい日数より算定
計	2,766		2,766	3,126			3,126	2,766					

(2) 用水対策

上段：変更後

下段：変更前

(ア) 貯水池

〃  
該当なし

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km <sup>2</sup> )		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m <sup>3</sup> )	有効貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用回数 (回)	最大取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	直接	間接	事業名								
			地区内	地区外	計						

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	かんがい面積 (ha)			取水量 (m <sup>3</sup> /s)		湯水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			事業名			最大	平均		
			区画整理	地区外	計				
〃 頭首工	〃 一級河川伊手川	〃 -	62.1 61.7	2.1 2.8	64.2 64.5	0.131 0.130	〃 0.102	〃 -	

(ウ) 揚水機

〃  
該当なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m <sup>3</sup> /s)		揚水機				備考
		事業名			最大	平均	実揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	
		区画整理		計							

(エ) 用水路

上段：変更後  
下段：変更前

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構造	備考
	事業名						
	区画整理	(地区外)	計				
用水路工	176.7	137.7	314.4	0.131	34,589	〃	
	174.4	140.8	315.2	0.130	500 33,635	BF400 VU75~VU450	
計	176.7 174.4	137.7 140.8	314.4 315.2		35,089 34,135		

(オ) その他の水源施設

〃  
該当なし

(3) 水質水温

〃  
該当なし

上段：変更後

下段：変更前

## 第4節 排水計画

### 1. 計画基準雨量

（岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成26年3月版 江刺地域気象観測所）

最大24時間雨量	117.0 mm (1/10年)	76.0 mm (1/2年)
最大4時間雨量	68.9 mm (1/10年)	44.3 mm (1/2年)
最大1時間雨量	35.8 mm (1/10年)	23.2 mm (1/2年)

### 2. 計画排水方式

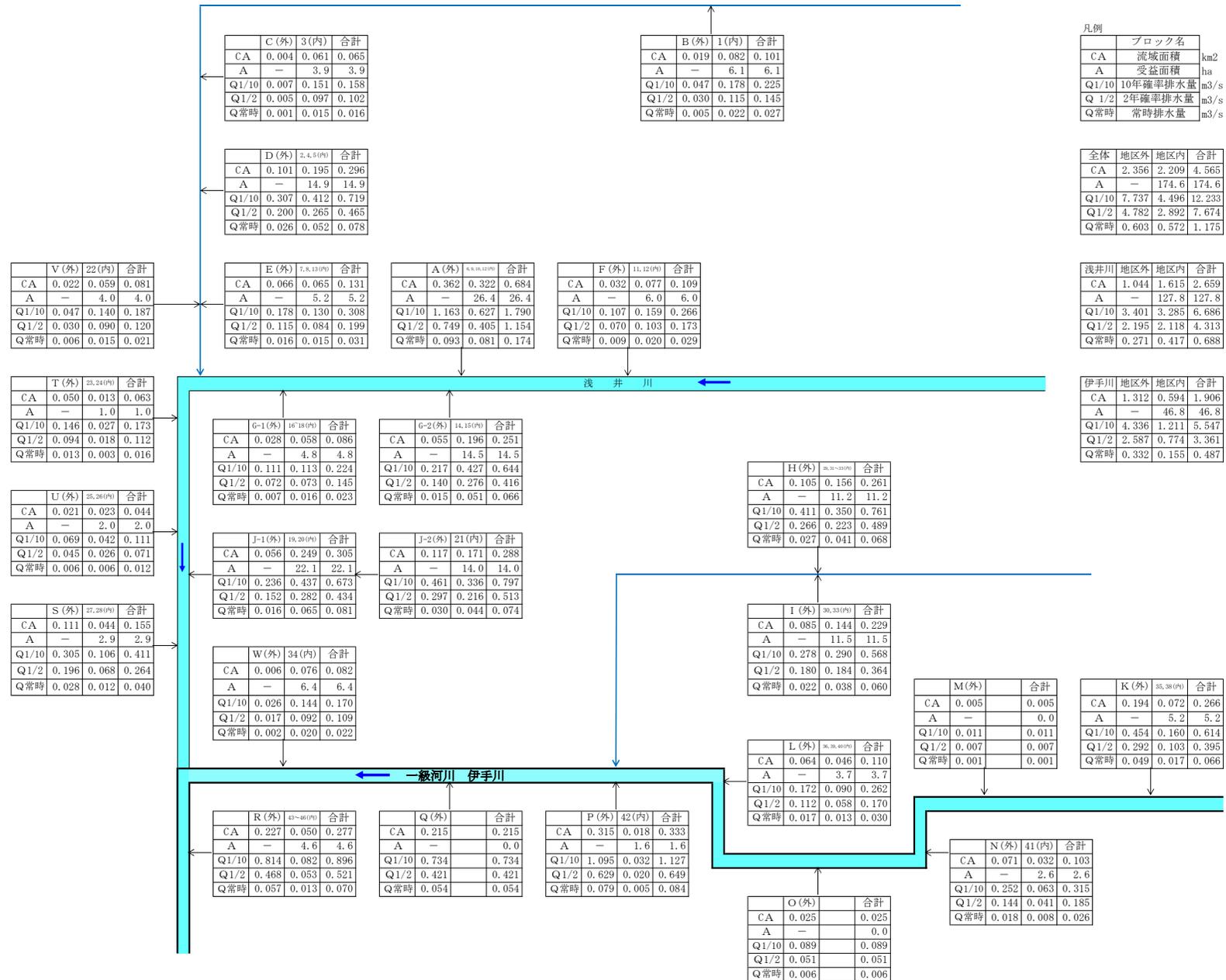
自然流下排水

### 3. 計画排水系統

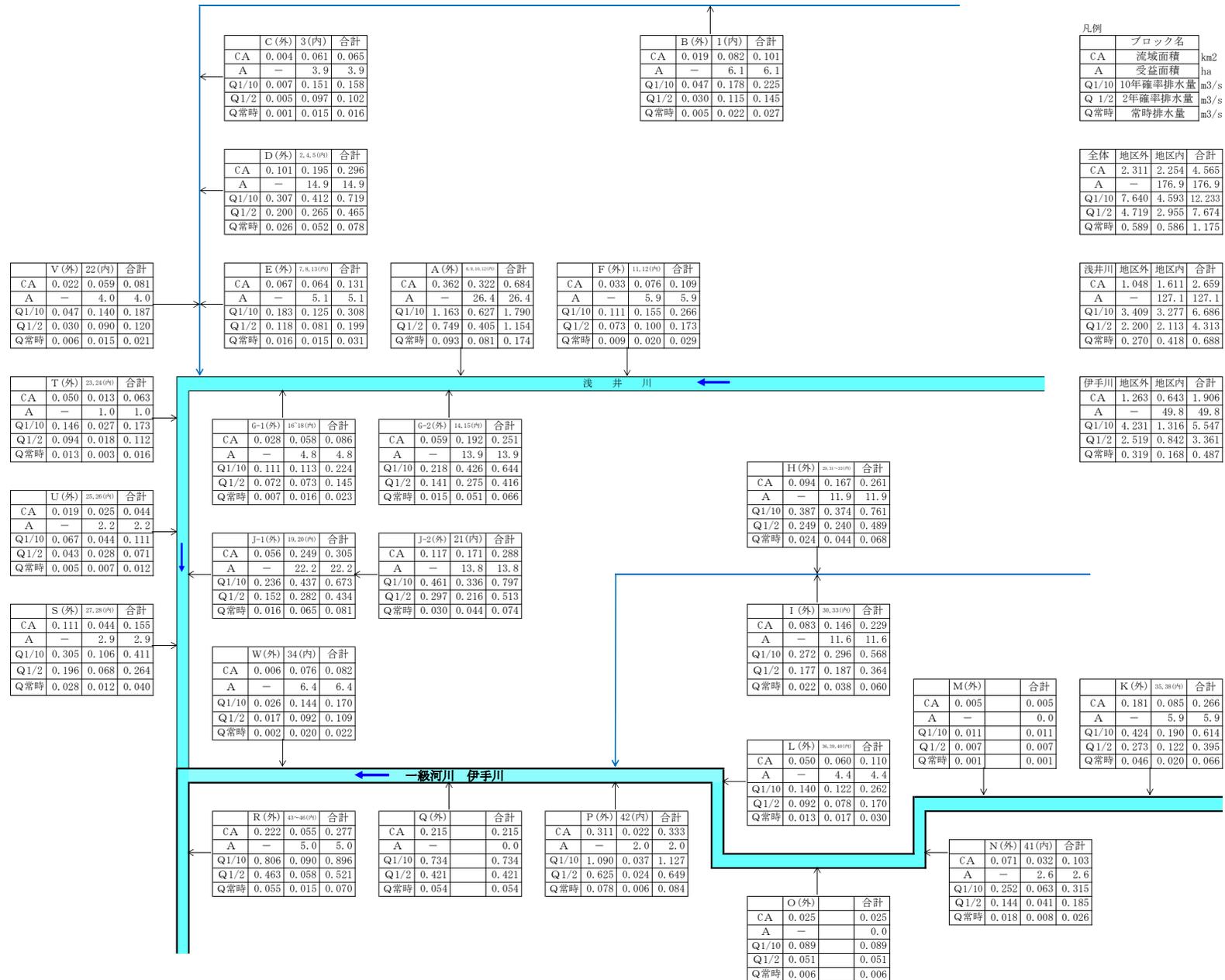
次頁参照

# 下横瀬地区 計画排水系統模式図

変更前



下横瀬地区 計画排水系統模式図 変更後



上段：変更後  
下段：変更前

4. 計画排水量

(第11表-1)

排水 系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (km <sup>2</sup> )		基準 雨量 (mm)	降雨による 直接単位流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		基底流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		全排水量 (m <sup>3</sup> /s)			単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		備 考
	事 業 名			山地	平地		山地	平地	山地	平地	平 地			山地	平地	
	区画整理	地区外	計								自然排水	機械排水	山地			
〃 一級河川 伊手川	176.9 174.6	〃 -	176.9 174.6	〃 0.618	〃 3.947	〃 68.9mm/4hr	〃 1/10確率 1.355~ 5.119	〃 0.923~ 4.306	〃 0.25	〃 2.190	〃 10.043	〃 -	〃 1/10確率 1.355~ 5.119	〃 0.923~ 4.306		
計	176.9 174.6		176.9 174.6	〃 0.618	〃 3.947					〃 2.190	〃 10.043	〃 -				

5. 排水対策

上段：変更後  
下段：変更前

(1) 排水水門

〃  
該当なし

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積(ha)			計 画		排 水 本 川			備 考
		事 業 名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内たん 水深 (m)	名 称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
				計						

(2) 排水機

〃  
該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積(ha)			計 画		排 水 機				備 考
		事 業 名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内たん 水深 (m)	実 揚 程 (m)	排 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	台 数 (台)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	
				計							

(3) 排水路

上段：変更後  
下段：変更前

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計画排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		事業名						名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
		区画整理		計							
小排水路	〃 4.565	176.9 174.6		176.9 174.6	〃 12.233	27,893 26,839	〃 HF300×300~1000×1000 VU300~VU450	〃 伊手川	〃 -	〃 -	
計	〃 4.565	176.9 174.6		176.9 174.6	〃 12.233	27,893 26,839					

(4) その他

〃  
該当なし

6. 湛水検討

〃  
該当なし

第5節 道路計画

上段：変更後

下段：変更前

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

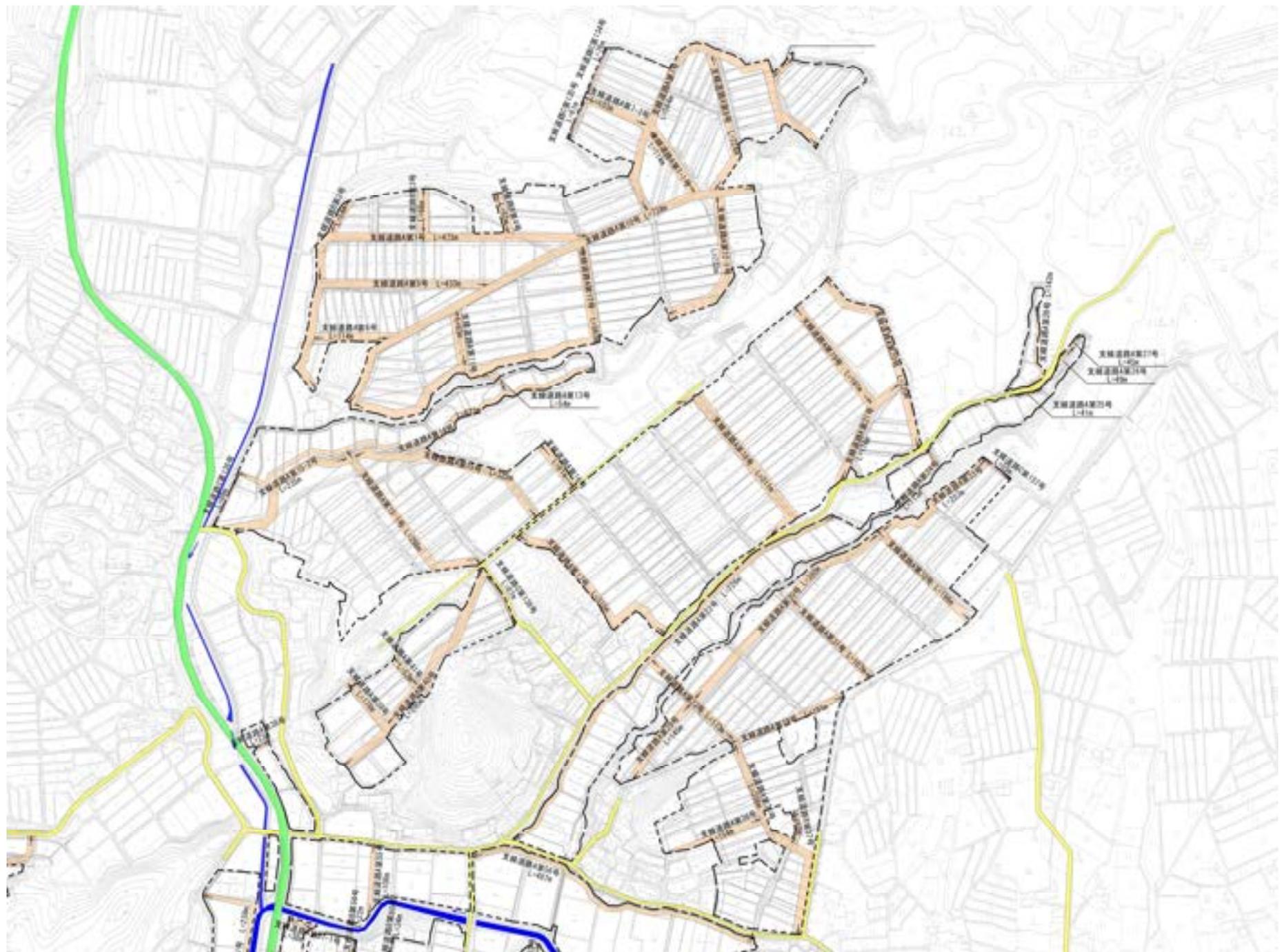
路線名	項目 幅(有効)×延長 (m) (m)	構造	既設道路との関係	備考
支線道路(A)	5.0(4.0)×30,299 5.0(4.0)×29,012	// 敷砂利工 (t=0.10m)	// 県道、市道の取付あり	
支線道路(B)	// 4.0(3.0)×619	// 敷砂利工 (t=0.10m)	// 県道、市道の取付あり	
腹付け拡幅	3.0(2.0)×2,488 3.0(2.0)×2,327	// 敷砂利工 (t=0.10m)		
計	33,406 31,958			

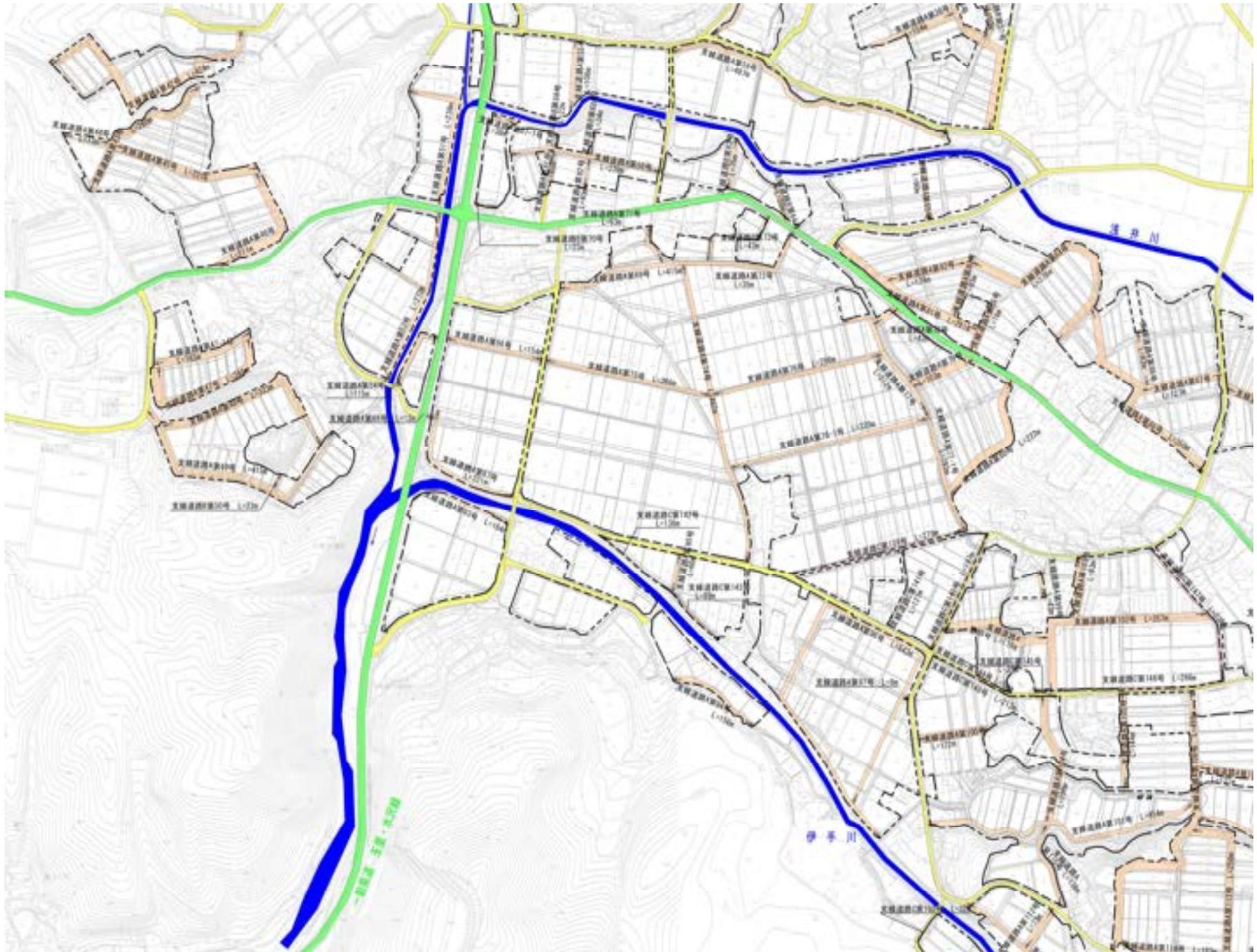
(2) 索道

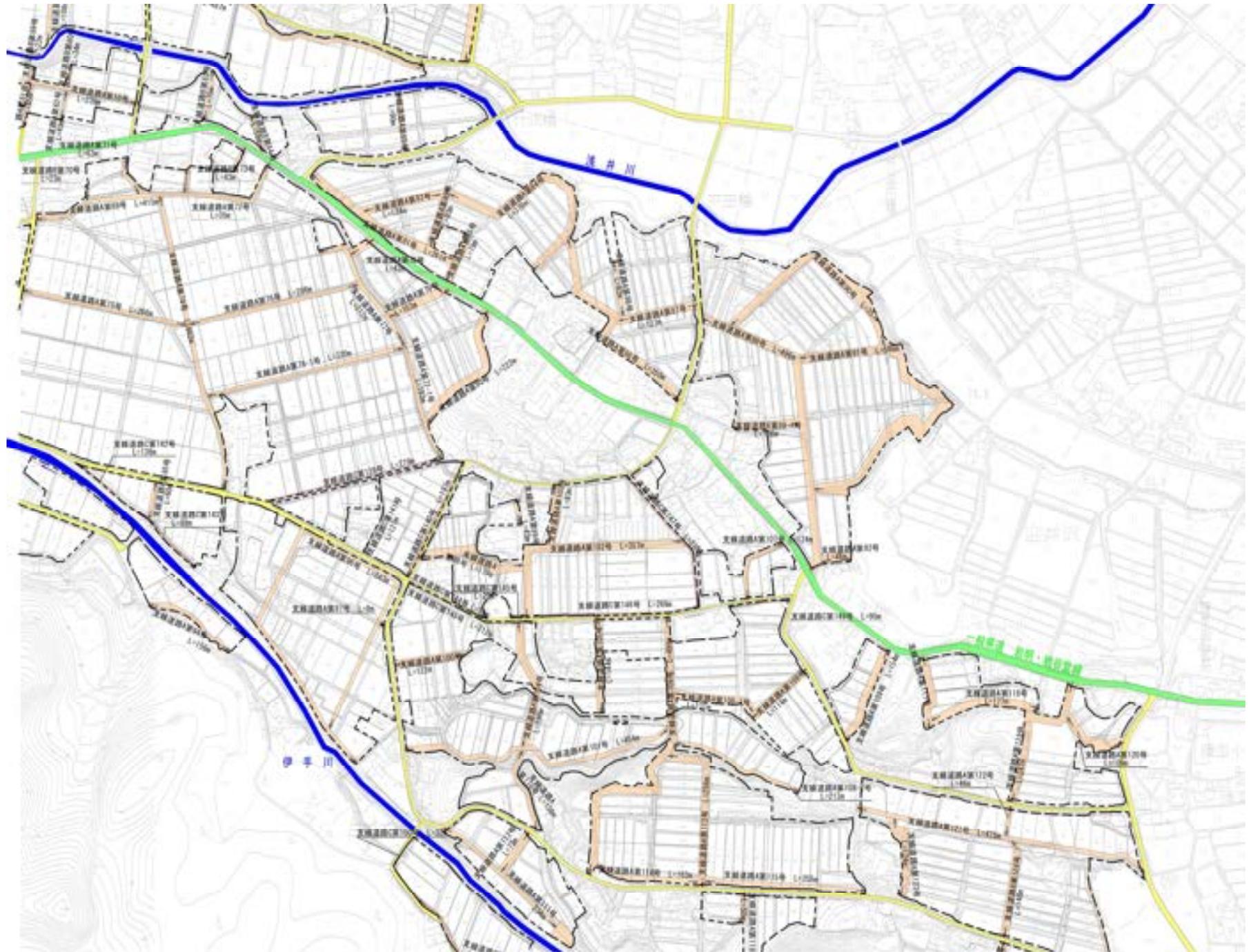
//  
該当なし

2. 路線配置図

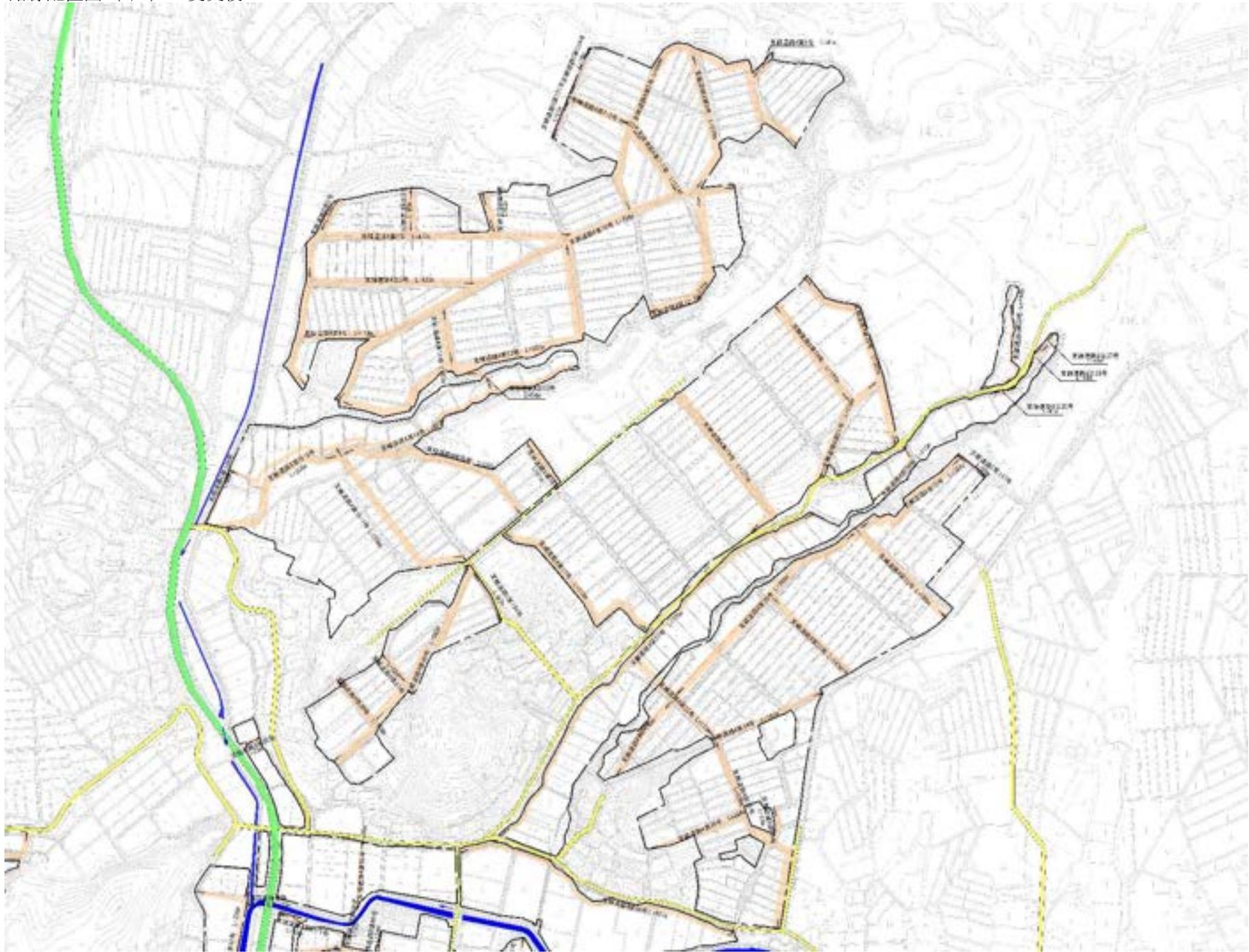
//  
別紙のとおり



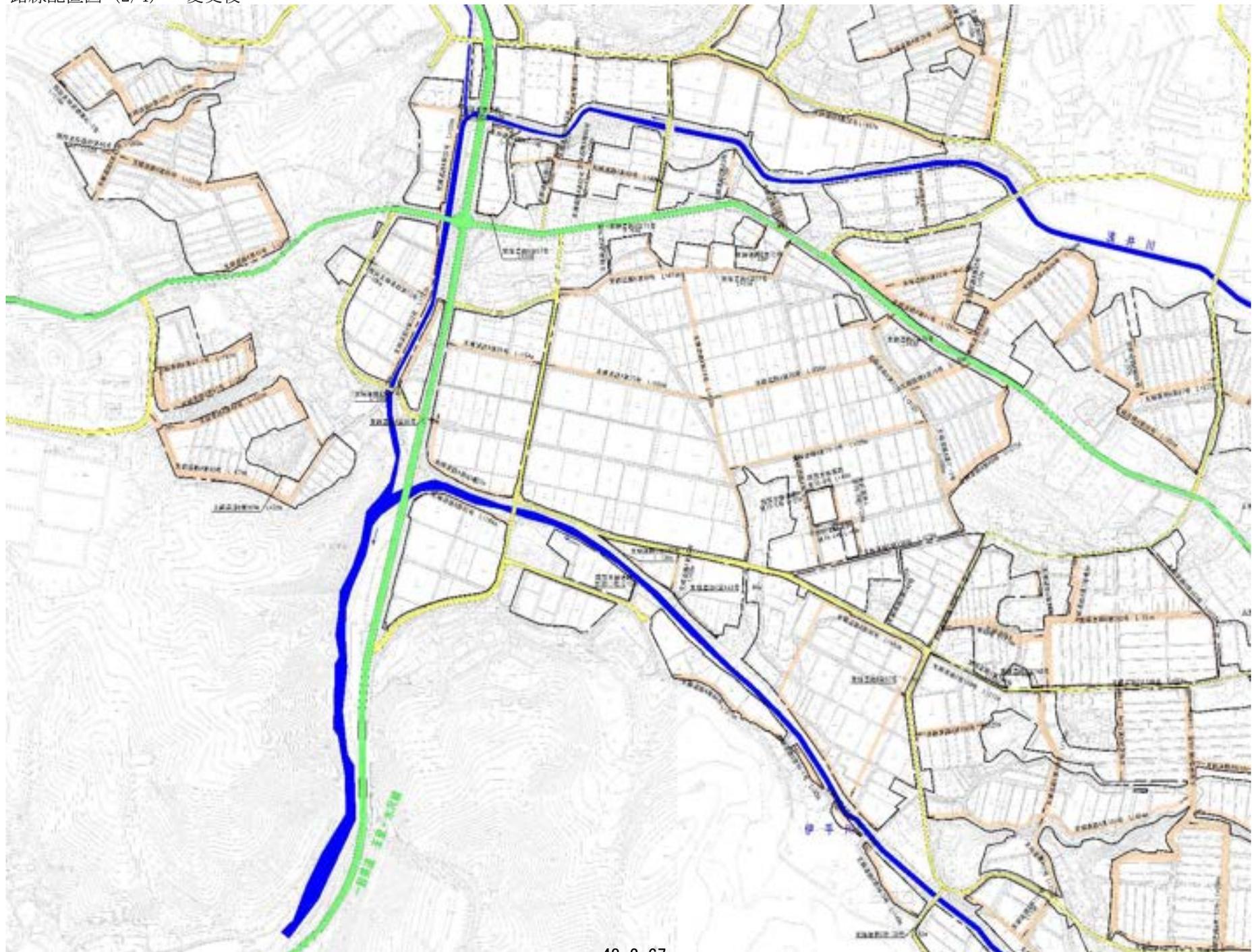






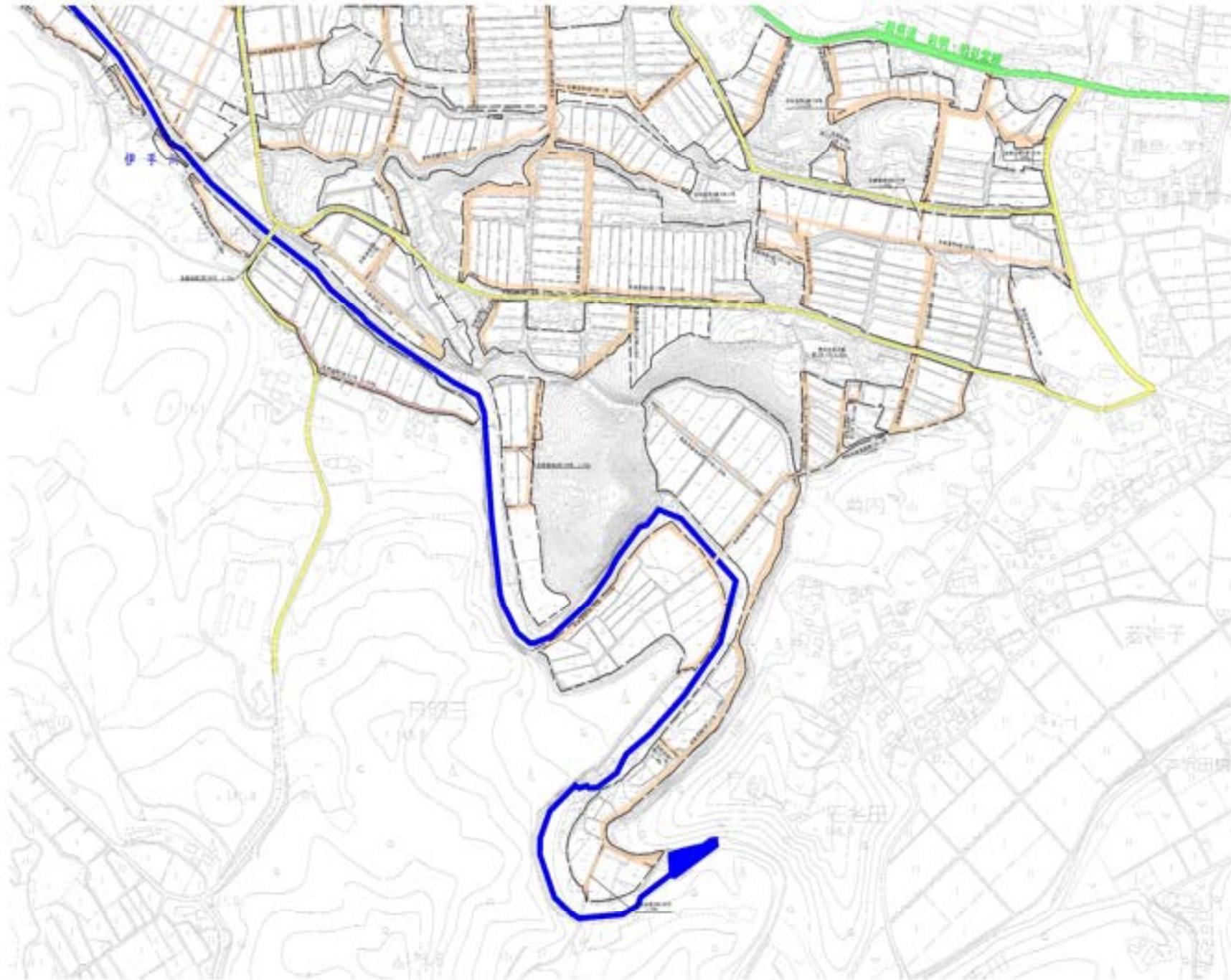


路線配置図 (2/4) 変更後



路線配置図 (3/4) 変更後





## 第6節 農用地造成計画

上段：変更後  
下段：変更前

1. 農用地造成計画  
(1) 農地造成計画

//  
該当なし

(第13表-1)

項目 地区名	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考	
					備	考

- (2) 末端道排水路配置計画 該当なし

2. 土壌改良

//  
該当なし

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土壌統 (区)名	PH		置換酸度 (Y <sub>1</sub> )	りん酸吸 収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量 (t/ha)			備考
			H <sub>2</sub> O	KG1			石炭	りん酸質資材	有機質資材	

## 第7節 洪水調節計画

上段：変更後  
下段：変更前

1. 計画基準雨量 該当なし

2. 計画洪水量及び調節量

//  
該当なし

(第14表-1)

地点	流域面積 (km <sup>2</sup> )	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	安全洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	必要調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調節量 (m <sup>3</sup> /s)	調節後 最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節前後の 最大流量の差 (m <sup>3</sup> /s)	最大調節量 (m <sup>3</sup> /s)

3. 貯水池

//  
該当なし

(第14表-2)

項目 貯水地名	流域面積 (km <sup>2</sup> )		計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )			計画調節流量 (m <sup>3</sup> /s)	可能調節流量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

4. 洪水調節検討

上段：変更後  
下段：変更前

- (1) 河川改修計画との関係 // 該当なし
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響 // 該当なし
- (3) 計画基準雨量以外についての検討 // 該当なし

5. 管理計画

- (1) 管理機構 // 該当なし
- (2) ダム管理操作上の各種基準 // 該当なし
- (3) 洪水調節要領 // 該当なし

第8節 干拓計画

// 該当なし

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 ( I P m)	風向及び対岸距離 (km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備 考

## 第9節 農用地整備計画

上段：変更後

下段：変更前

### 1. 区画整理

#### (1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
〃	〃	49.9	〃	〃	
不定形	0.3未満	48.0	27	2.4	
〃	〃	53.2	〃	〃	
100 × 30	0.3	53.1	30	2.3	
〃	〃	57.5	〃	〃	
100 × 50	0.5	57.1	33	2.0	
〃	〃	16.1	〃	〃	
100 × 100	1.0	16.2	9	0.9	
〃	〃	〃	〃	〃	〃
その他	—	0.2	1	—	畑
計		176.9 174.6			

#### (2) 表土扱い

(第16表-2)

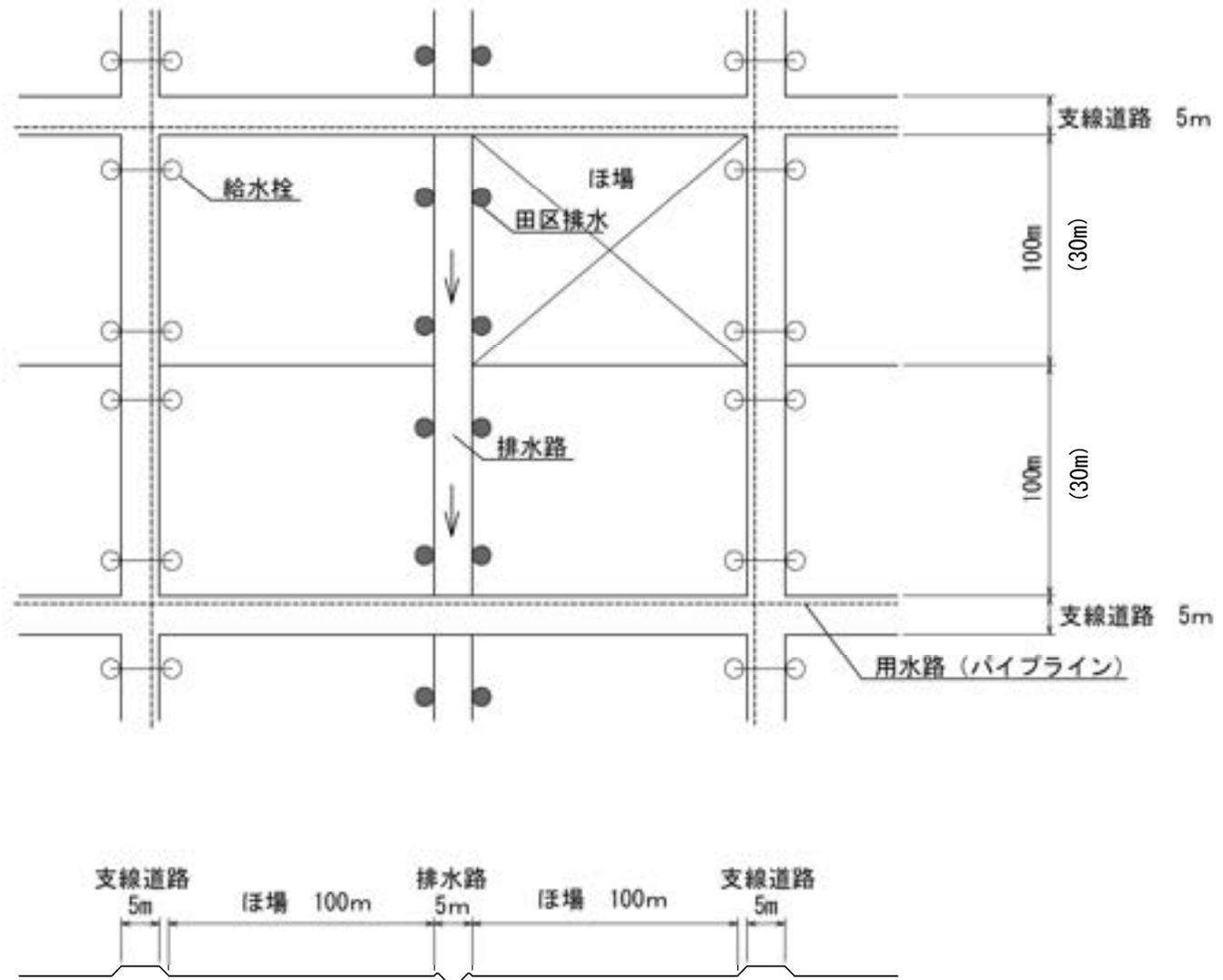
面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m3)	備考
176.9	〃	〃	265,450	〃
174.6	地力の保持	15 ・ 20	262,000	田15cm、畑20cm

#### (3) 末端道水路配置図

〃  
別紙のとおり

# 末端道水路配置図

変更前後



上段：変更後  
下段：変更前

2. 暗渠排水  
(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

区分	項目	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方法	備考
		事業名								
		区画整理		計						
	暗渠排水	13.0		13.0	〃	〃	〃	〃	〃	
	暗渠排水	6.3		6.3	強グライ土壌強粘土斑鉄型	50	5.7	0.5	自然排水	D-31
	暗渠排水	〃		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
	暗渠排水	3.8		3.8	グライ土壌強粘土構造型	50	5.7	0.5	自然排水	E-40
	暗渠排水	56.7		56.7	〃	〃	〃	〃	〃	
	暗渠排水	59.6		59.6	灰色土壌粘土構造型	50	5.7	0.5	自然排水	F-50
	暗渠排水	13.3		13.3	〃	〃	〃	〃	〃	
	暗渠排水	11.8		11.8	灰褐色土壌強粘土構造型	50	5.7	0.5	自然排水	G-60
	暗渠排水	80.4		80.4	〃	〃	〃	〃	〃	
	暗渠排水	73.8		73.8	黄褐色土壌強粘土型	50	5.7	0.5	自然排水	G-60
	暗渠排水	9.5		9.5	〃	〃	〃	〃	〃	
	暗渠排水	6.9		6.9	礫層土壌粘土型	50	5.7	0.5	自然排水	J-91
	計	176.7		176.7						
		162.2		162.2						

(2) 心土破碎 〃  
該当なし

(第16表-3-2)

区分	項目	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	土壌硬度 (mm/日)	備考
		事業名					
	計						

3. 客土

上段：変更後  
下段：変更前

//  
該当なし

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当 たり 客 土 量 (m <sup>3</sup> )	土 壤 の 性 質		備 考
	事 業 名				現 況 平 均	計 画 平 均	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 (%)	採 土 地 (客土材 料) (%)	
			計									
計												

4. 農地保全

(1) 防災林

//  
該当なし

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工

//  
該当なし

(第16表-5-2)

項目 区分	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備 考
				単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	全排水量 ( m <sup>3</sup> /s)	

(3) 侵食（崩壊）防止工

上段：変更後

下段：変更前

//  
該当なし

(第16表-5-3)

区分 \ 項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考
計				

第10節 老朽ため池改修計画

- 1. 洪水吐改修計画 // 該当なし
  - (1) 計画基準雨量 // 該当なし
  - (2) 計画洪水量 // 該当なし
- 2. 堤体補強計画 // 該当なし
- 3. 取水施設改修計画 // 該当なし

## 第 5 章 主要工事計画

### 第1節 用水施設

上段：変更後

下段：変更前

#### 1. 貯水池

//  
該当なし

(第17表-1)

名称				位置				貯水量 (千m <sup>3</sup> )		備考
	形式	流域面積 (km <sup>2</sup> )		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体質 (千m <sup>3</sup> )	基盤地盤地質	総貯水量	有効貯水量	
直接		間接								
堤体										
洪水吐	形式	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考	取水施設	形式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放流施設	形式	放流量 (m <sup>3</sup> /s)	

2. 頭首工

上段：変更後

下段：変更前

”  
該当なし

(第17表-2)

名称	位置			取水位置 (m)	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	付帯施設	備考
	堤高 (m)	堤長 (m)					
形式		固定部	可動部	計			

3. 揚水機

”  
該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程(m)		揚水機			原動機			備考
			実揚程 (m)	全揚程 (m)	形式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力	台数 (台)	

上段：変更後

下段：変更前

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)			通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開 渠	トンネル その他	計				
	区画整理	地区外	計								
〃	176.7	137.7	314.4	0.131	〃	34,589	35,089	〃	〃		〃
用水路工	174.4	140.8	315.2	0.130	500	33,635	34,135	VU75～VU450 BF400	—		パイプライン
計	176.7 174.4	137.7 140.8	314.4 315.2	〃 0.13	〃 500	34,589 33,635	35,089 34,135				

5. その他かんがい施設

〃  
該当なし

(第17表-5)

項目 水路名	構 造	規 模	数 量	備 考

## 第2節 排水施設

上段：変更後  
下段：変更前

### 1. 排水水門

//  
該当なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
計							

### 2. 排水機

//  
該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程		排水機			原動機			備考
			実揚程 (m)	全揚程 (m)	形式	口径 (m)	台数 (台)	形式	動力	台数 (台)	
計											

3. 排水路

上段：変更後  
下段：変更前  
(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名				開水路	トンネル その他	計				
	区画整理		計								
排水路工	176.9		176.9	〃	20.8	7.1	27.9	〃	〃	〃	
	174.6		174.6	0.001~2.151	20.0	6.8	26.8	HF300×300~1000×1000 VU300~VU450	1/100~1/230 1/5~1/23	—	
計	176.9		176.9		20.8	7.1	27.9				
	174.6		174.6		20.0	6.8	26.8				

4. その他排水施設

〃  
該当なし

### 第3節 道路及び索道

上段：変更後  
下段：変更前

#### 1. 道 路

##### (1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(有効) × 延長 (m) (km)	構造	付帯構造物			最急 勾配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
〃	〃	5.0 (4.0) × 30.3	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
支線道路(A)	—	5.0 (4.0) × 29.0	砂利道	—	—	—	—	—	—	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
支線道路(B)	—	4.0 (3.0) × 0.6	砂利道	—	—	—	—	—	—	
〃	〃	3.0 (2.0) × 2.5	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
腹付け拡幅	—	3.0 (2.0) × 2.4	砂利道	—	—	—	—	—	—	
計		33.4 32.0								

##### (2) 道路主要構造物

〃  
該当なし

#### 2. 索 道

〃  
該当なし

## 第4節 農用地造成

上段：変更後  
下段：変更前

### 1. 農用地造成

〃  
該当なし

#### (1) 抜根

〃  
該当なし

(第20表-1)

区分	項目	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計						

#### (2) 除礫

〃  
該当なし

(第20表-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除去 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

(3) 開墾作業

上段：変更後  
下段：変更前

”  
該当なし

(第20表-3)

項目		面積 (ha)	工 法	備 考
区分 地 目	造成方法			
計				

(4) 開墾作業

(第20表-4)

”  
省略

(5) 開墾作業

(第20表-5)

”  
省略

(6) 開墾作業

(第20表-6)

”  
省略

2. 土壌改良

”  
該当なし

(第20表-7)

項目 区分	面積 (ha)	面積 (ha)	面積 (ha)	面積 (ha)	備 考
計					

第5節 洪水調節施設

上段：変更後  
下段：変更前

1. 貯水池

//  
該当なし

2. 頭首工及び導水路

//  
該当なし

(1) 頭首工

//  
該当なし

(第21表-2)

名称			位置			計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
	集水面積 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	堤長 (m)					
形式			固定部	可動部	計			

(2) 導水路

//  
該当なし

(第21表-3)

水路	項目 通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		総延長	トンネル	その他			

第6節 干拓施設

1. 堤防

//  
該当なし

(第22表-1)

名称	項目 面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m)	施工方法	備考

2. 潮止め

//  
該当なし

(第22表-2)

名称	項目 工法	幅見 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 付属施設

//  
該当なし

4. 埋立

//  
該当なし

(第22表-3)

名称	項目 面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m)	施工方法 (m)	備考

第7節 農用地整備施設

上段：変更後

下段：変更前

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱		備考
		標準区画	土量 (m <sup>3</sup> )	面積 (ha)	土量 (m <sup>3</sup> )	
下横瀬	49.9	〃	〃	49.9	74,850	〃 畑
	48.0	不定形	—	48.0	72,000	
	53.2	〃	〃	53.2	79,800	
	53.1	100 × 30	—	53.1	79,650	
	57.5	〃	〃	57.5	86,250	
	57.1	100 × 50	—	57.1	85,650	
	16.1	〃	〃	16.1	24,150	
	16.2	100 × 100	—	16.2	24,300	
	〃	〃	〃	〃	〃	
0.2	その他	—	0.2	400		
計	176.9			176.9	265,450	
	174.6			174.6	262,000	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

〃  
該当なし

項目	数量	規模	構造	備考
区分				
計				

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

〃  
該当なし

項目	数量	規模	構造	備考
区分				
計				

上段：変更後

下段：変更前

2. 暗渠排水

(1)暗渠排水

(第23表-4-1)

区分	面積 (ha)			集水渠				吸水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考	
	事業名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量 (m/ha)
	区画整理		計														
自動埋設型暗渠工	176.7		176.7	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	162.2		162.2	レベル	ポリ管	φ50~65	36	水頭差	ポリ管	φ50~60	0.6	10.0	934	小排水路	HF	0	
計	176.7		176.7														
	162.2		162.2														

(2)心土破碎

(第23表-4-2)

〃  
該当なし

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

3. 客土

(第23表-5)

〃  
該当なし

区分	項目	面積 (ha)			客入土量 (m <sup>3</sup> )	土取場土量 (m <sup>3</sup> )	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
		事業名							
				計					
計									

4. 除礫

(第23表-6)

〃  
該当なし

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

4. 農地保全

〃  
該当なし

上段：変更後

下段：変更前

(1) 防災林

〃  
該当なし

(第23表-4)

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本 数 (本)	備考
計						

(2) 排水路

〃  
該当なし

(第23表-5)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m)	構造	備考
計				

(3) 侵食防止工

〃  
該当なし

(第23表-6)

項目 名称	構造	数量	備考
計			

## 第8節 老朽ため池改修施設

上段：変更後

下段：変更前

### 1. 貯水池

〃  
該当なし

(第24表)

名 称					位 置			
堤 体	形 式	流 域 (km <sup>2</sup> )	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (m <sup>3</sup> )	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )	備 考
洪水吐	形 式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	規 模 (m)	備 考	取水施設	形 式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考

### 2. 堤体補強施設

〃  
該当なし

#### (1) のり面保護施設

〃  
該当なし

#### (2) 漏水防止工

〃  
該当なし

上段：変更後

下段：変更前

## 第6章 付帯工事計画

//  
該当なし

## 第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手	令和	// 元	年度
完了	令和	// 10	年度

## 第8章 環境との調和への配慮

//  
本地区は田園環境整備マスタープランにおいて「環境配慮区域」とされており、地域で生育・生息が確認されている動植物の生息環境への負荷の低減に努め、現況保全すること等により、環境の改変を最小限にするよう努めることとしている。

環境との調和への配慮として、地区内で生息が確認された保全対象種については、有識者委員の指導・助言を得ながら、工事施工前に地区に隣接した生息環境が類似している箇所を利用し移植・移動する。また、景観を阻害しないように現地形に沿った区画設計とし、農村景観への影響を最小限にする。

## 第9章 換地計画の概要

上段：変更後

下段：変更前

### 第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区は、地区内面積<sup>225.4</sup>の水田地域で、農地は10a区画に整理されているが、今後の農業経営を考えて、本事業により生産基盤を整備し、農業機械の作業効率化、営農労力の節減を図り、生産性の向上を得るために、農地を担い手中心に地帯別・集落別に集団化するように換地計画を樹立する。

### 第2節 換地区の設定

#### 1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
〃	〃	127.4
下横瀬	岩手県奥州市江刺 藤里、玉里地内	124.6
〃	〃	98.0
寿	岩手県奥州市江刺 藤里地内	96.3
計		225.4 220.9

#### 2. 換地区を設定する理由

〃  
営農形態のまとまりが形成されている区域を1つとして、換地工区を2区設定する。

### 第3節 換地計画樹立の基本方針

上段：変更後

下段：変更前

#### 1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地 積 の 基 準
// 下 横 瀬 // 寿	// 換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画の決定の日の登記簿地籍とする。但し、上記の日から1年以内に測量士または土地家屋調査士の測量した実測図に、隣接所有者の承諾書を添付して申し出があった場合は、その申出地積とする。

2. 用途別予定地積

上段：変更後  
下段：変更前

(単位：ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得 予定者)	非農用地区域外に換地する土地											非農用地区域に換地する土地							機能交換に係る土地				一般 国 公 有 地	総 合 計						
		田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施工地域に 含める土地 (令第 1条の( ) 書き			計	本事業によって生ず る土地改良施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地							合 計	国	県	市 町 村 他	合 計	
						土地 改良 施設	その 他	小 計		改 良 区	その 他	小 計			宅 地	その 他	計		農 業 生 活 上 公 用 宅 地 計	農 業 生 活 上 公 用 宅 地 計	農 業 生 活 上 公 用 宅 地 計	農 業 生 活 上 公 用 宅 地 計	農 業 生 活 上 公 用 宅 地 計								
																															計
下 横 瀬	従前の土地	105.7	0.0	〃	〃	5.1		5.1	111.9	〃	〃	〃	〃	111.9	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	15.4	15.4	〃	127.4
	換地	103.2	0.1	0.6	0.5	4.8		4.8	109.2	-	-	-	-	109.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.3	15.3	0.1	124.6
寿	従前の土地	79.6	0.6	1.2	0.1	4.6		4.6	86.1	〃	〃	〃	〃	86.1	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	11.8	11.8	〃	98.0
	換地	78.5	0.5	0.8	0.3	4.7		4.7	84.8	-	-	-	-	84.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.4	11.4	0.1	96.3
合計	従前の土地	185.3	〃	1.8	0.6	9.7	〃	9.7	198.0	〃	〃	〃	〃	198.0	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	27.2	27.2	〃	225.4
	換地	181.7	0.6	1.4	0.8	9.5	-	9.5	194.0	-	-	-	-	194.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26.7	26.7	0.2	220.9
	換地	176.7	〃	〃	0.1		〃		177.0	5.9		5.9	〃	182.9	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	42.5	42.5	〃	225.4
		174.4	0.2	-	-		-		174.6	6.0		6.0	-	180.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.3	40.3	-	220.9

3. 農用地集団化の方針

上段：変更後

下段：変更前

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
〃 下横瀬 〃 寿	〃 地帯別・集落別集団化	〃 予め特殊地の選定を行った後、各戸の従前の土地が最も密集した位置を基本とするが、育成すべき経営体の経営農用地を中心として集積が図られるように配慮する。	〃 1～4団地	〃 移動畦畔

4. 非農用地換地の方法

〃  
該当なし

(第25表-5)

区分 地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積(m <sup>2</sup> )	換地の手法	換地取得予定者	その他

#### 第4節 土地の評価及び清算の方法

上段：変更後

下段：変更前

##### 1. 評価の方法

〃

項目別配点方式

〃

従前の土地と換地をそれぞれ個別に、かつ、1筆毎に、各評価項目について採点し、項目別に得られた採点結果を積み上げてその土地の点数とし、点数に対応する等位をつける。

##### 2. 清算の方法

〃

比例地積清算方式

〃

事業による利益（増価額）を従前の土地の地積に比例して配分する方法

#### 第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度	備考
〃 下横瀬 〃 寿	〃 令和2～9年度	〃 令和10年度	〃 令和10年度	〃 確定測量 令和8年度

#### 第6節 換地処分の時期に関する特則

〃

換地区全部について区画整理工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法題54条第2項本文の規定に関わらず、換地処分を行うものとする。

第10章 事業費の総額及び内訳

上段：変更後

下段：変更前

単位：千円

事業区分	事業費		資金計画							
			国費	県費	市町村費	受益者負担				
〃 区画整理	純工事費	5,177,000	2,847,350	〃	1,553,100	〃	517,700	〃	258,850	〃
		4,194,000	2,306,700	(55%)	1,258,200	(30%)	419,400	(10%)	209,700	(5%)
	測量試験費	453,000	249,150	〃	135,900	〃	45,300	〃	22,650	〃
		387,000	212,850	(55%)	116,100	(30%)	38,700	(10%)	19,350	(5%)
	用地買収補償費	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
		71,000	39,050	(55%)	21,300	(30%)	7,100	(10%)	3,550	(5%)
	換地費	257,000	141,350	〃	77,100	〃	25,700	〃	12,850	〃
		215,000	118,250	(55%)	64,500	(30%)	21,500	(10%)	10,750	(5%)
工事雑費										
計	5,958,000	3,276,900		1,787,400		595,800		297,900		
	4,867,000	2,676,850		1,460,100		486,700		243,350		
事務費										
総事業費	5,958,000	3,276,900		1,787,400		595,800		297,900		
	4,867,000	2,676,850		1,460,100		486,700		243,350		

第11章 効用

単位：千円

事業区分	区分	項目	年総効果(便益)額	年増加農業所得額	備考
		58,873	14,567		
営農経費節減効果		320,722	337,542		
		299,959	313,509		
維持管理費節減効果		△ 4,517	519		
		△ 3,991	606		
耕作放棄防止効果		31			
		4			
国産農作物安定供給効果		10,090			
		9,109			
計		386,084	357,392	〃	1.13
		363,954	328,682	総費用総便益比	1.31

第12章 関連する事業

上段：変更後  
下段：変更前  
(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容
〃 異種	〃 国営かんがい排水事業 猿ヶ石用水地区	〃 国	〃 3,920	〃 基幹用水路 51.5km
	〃 県営農業水利システム 保全整備事業 白岩地区	〃 岩手県	〃 466	〃 支線用水路 15.8km
	〃 県営農業水利システム 保全整備事業 横瀬地区	〃 岩手県	〃 252	〃 支線用水路 6.2km

## 第13章 現況・計画図面

上段：変更後  
下段：変更前

1. 位置図

〃  
別途添付

2. 現況計画平面図

〃  
別途添付

3. 土地利用計画図

〃  
別途添付

4. 主要構造図

〃  
別途添付

農業競争力強化基盤整備事業  
(農地整備事業【経営体育成型】)  
下横瀬地区 計画一般図  
変更後 S = 1 : 25,000



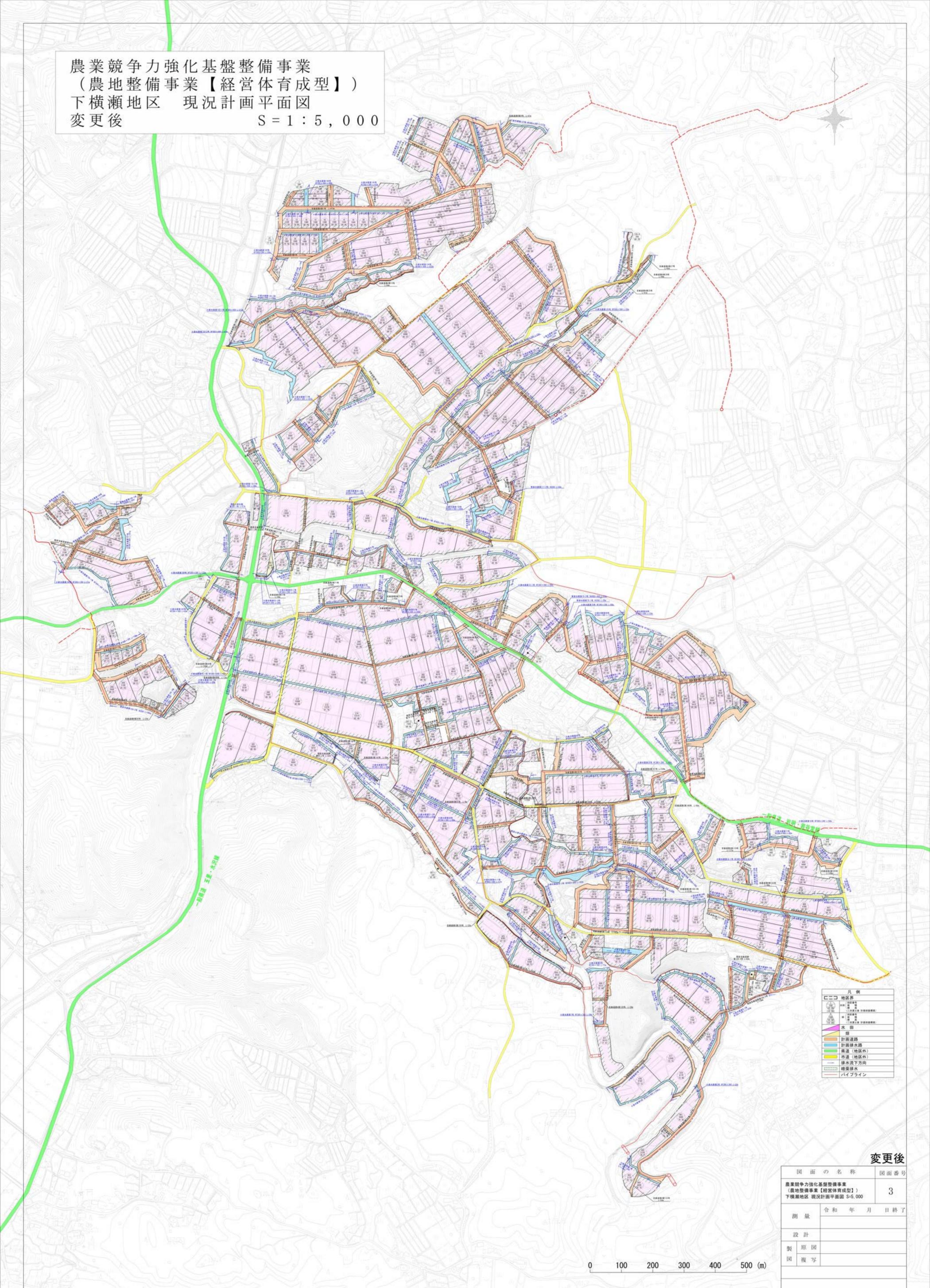
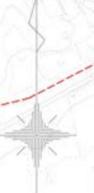
凡 例	
受益	
県道	

農業競争力強化基盤整備事業  
(農地整備事業【経営体育成型】)  
下横瀬地区 計画一般図  
変更前 S = 1 : 25,000



凡 例	
受益	
県道	

農業競争力強化基盤整備事業  
 (農地整備事業【経営体育成型】)  
 下横瀬地区 現況計画平面図  
 変更後 S = 1 : 5,000



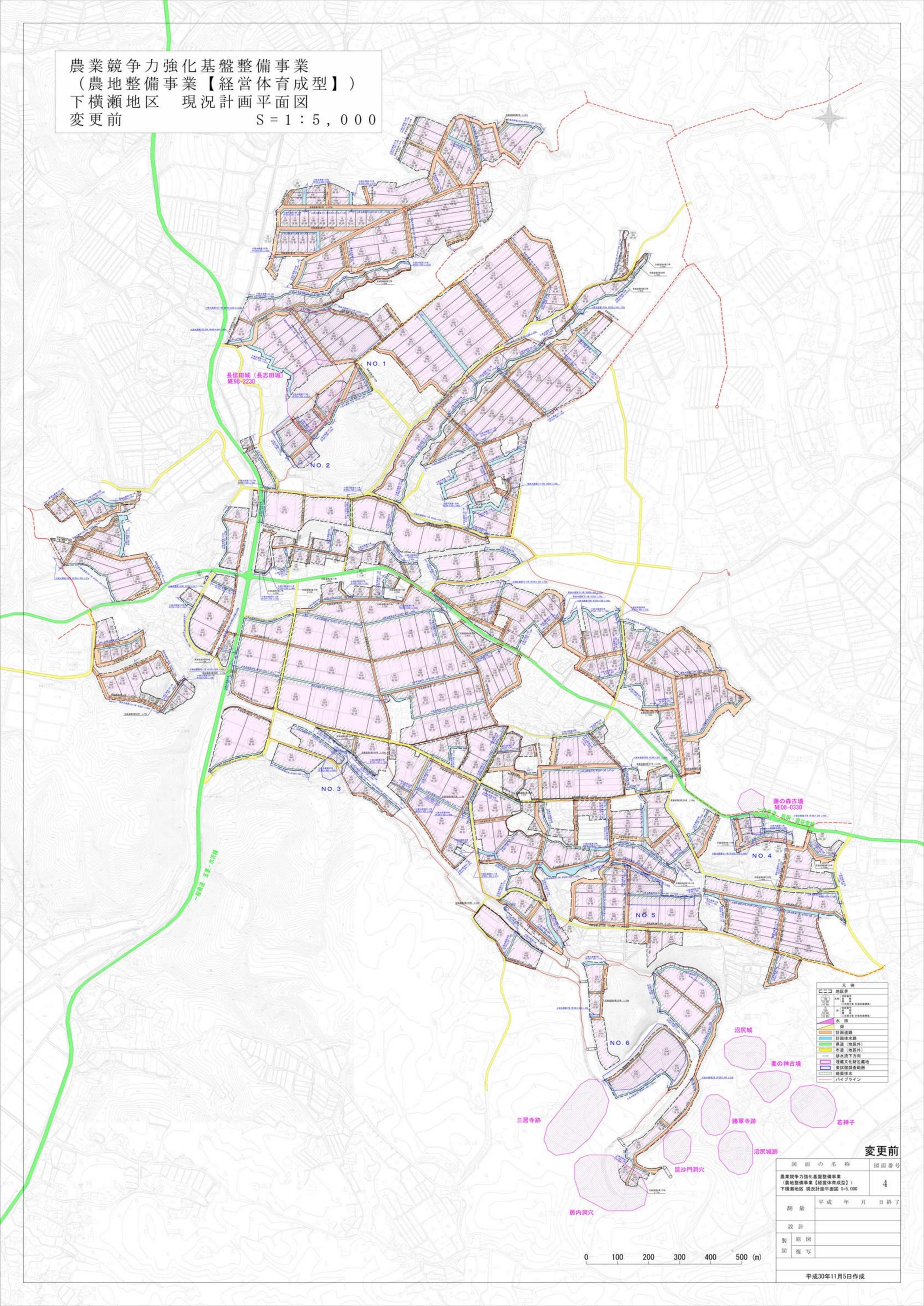
凡例

地区界	地区界
水田	水田
計画道路	計画道路
計画排水路	計画排水路
市道(地区外)	市道(地区外)
排水流下方向	排水流下方向
排水路	排水路
パイプライン	パイプライン

0 100 200 300 400 500 (m)

変更後	
図面の名称	図面番号
農業競争力強化基盤整備事業 (農地整備事業【経営体育成型】) 下横瀬地区 現況計画平面図 S=5,000	3
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	

農業競争力強化基盤整備事業  
 (農地整備事業【経営体育成型】)  
 下横瀬地区 現況計画平面図  
 変更前 S = 1 : 5,000

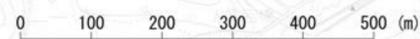


凡例

〇	地区界
●	水田
■	灌漑施設
□	計画排水路
○	排水路 (地区外)
—	市道 (地区外)
→	排水流下方向
■	埋蔵文化財包蔵地
■	軍団跡調査範囲
○	埋蔵排水
○	パイプライン

変更前

図面の名称	図面番号
農業競争力強化基盤整備事業 (農地整備事業【経営体育成型】) 下横瀬地区 現況計画平面図 S=5,000	4
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
平成30年11月5日作成	



農業競争力強化基盤整備事業  
(農地整備事業【経営体育成型】)  
下横瀬地区 農振土地利用計画図  
変更後 S = 1 : 10,000



0 100 200 300 400 500 (m)

変更後

図面の名称	図面番号
農業競争力強化基盤整備事業 (農地整備事業【経営体育成型】) 下横瀬地区 農振土地利用計画図 S=5,000	5
測量	令和 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	

農業競争力強化基盤整備事業  
(農地整備事業【経営体育成型】)  
下横瀬地区 農振土地利用計画図  
変更前 S = 1 : 10,000



0 100 200 300 400 500 (m)

変更前

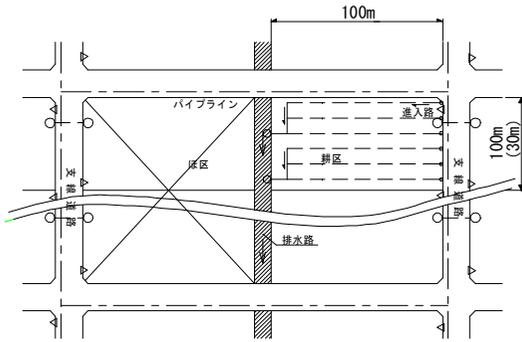
図面の名称	図面番号
農業競争力強化基盤整備事業 (農地整備事業【経営体育成型】) 下横瀬地区 農振土地利用計画図 S=10,000	6
測量	令和 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
平成30年11月 5日 作成	

# 下横瀬地区主要構造図

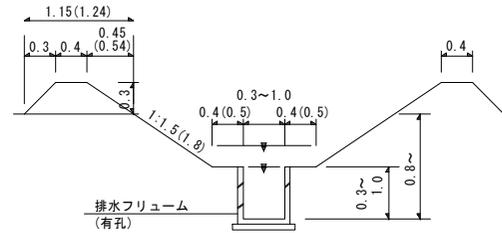
変更後

## 用水路工

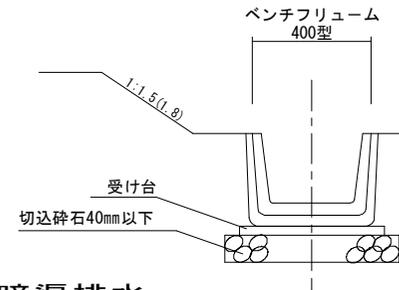
標準区画割図



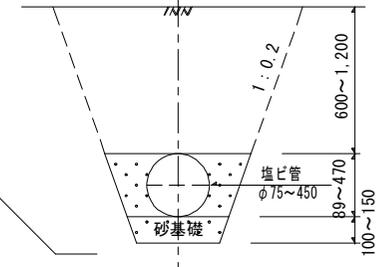
小排水路



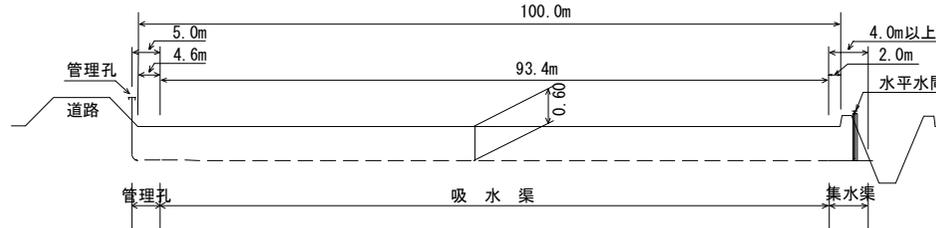
ベンチフリユーム



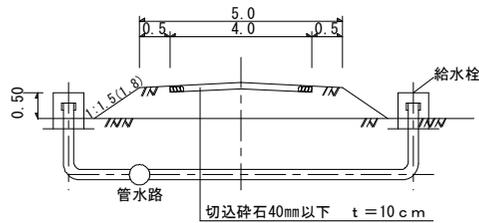
管水路



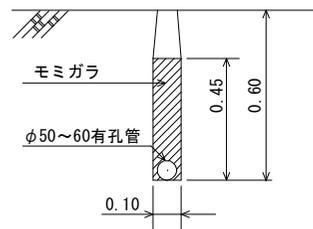
暗渠排水



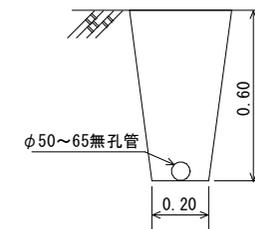
支線道路A



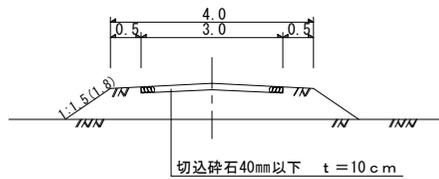
ドレンレイヤー標準図



集水渠断面図

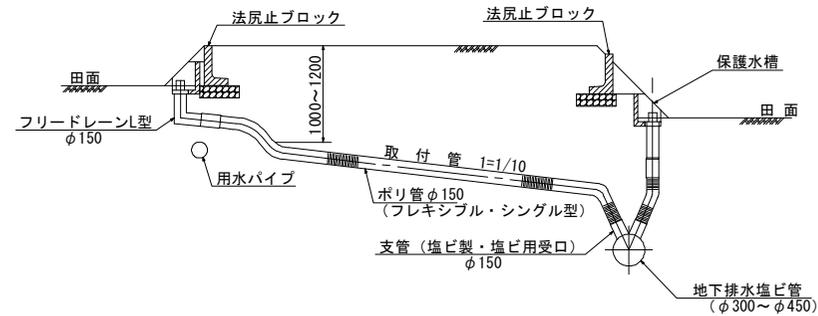


支線道路B

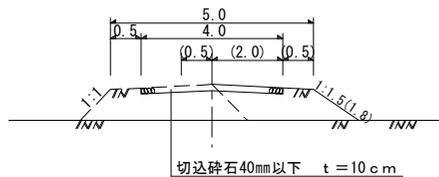


排水路

(地下排水路工)



支線道路C (拡幅)



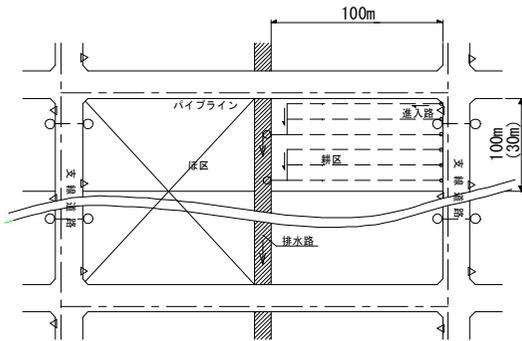
図面の名称	図面番号
下横瀬地区 主要構造図(変更後)	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図	
図検	

# 下横瀬地区主要構造図

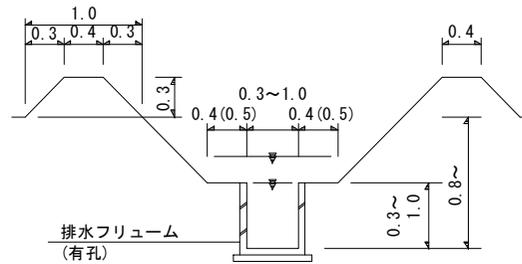
変更前

## 用水路工

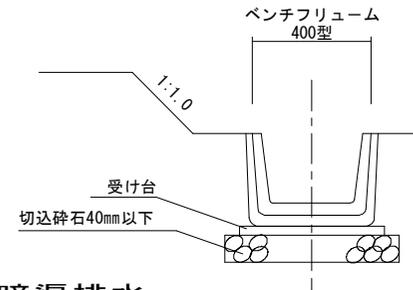
標準区画割図



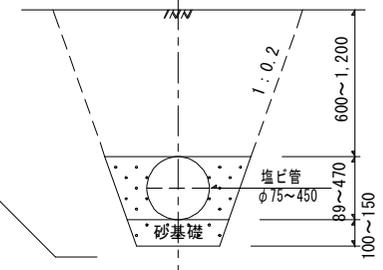
小排水路



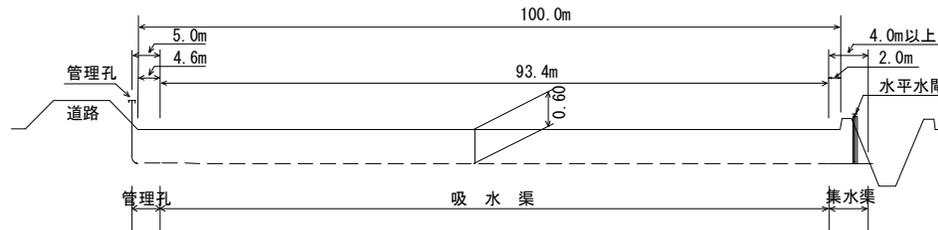
ベンチフリウム



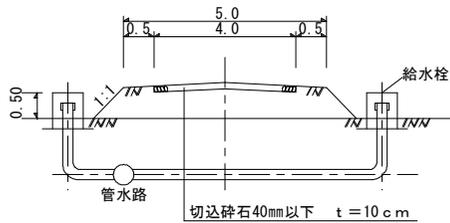
管水路



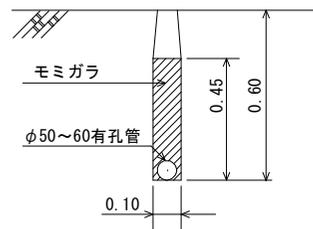
暗渠排水



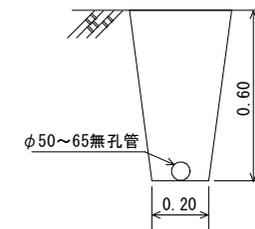
支線道路A



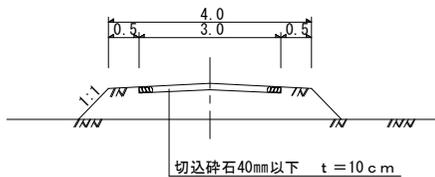
ドレンレイヤー標準図



集水渠断面図

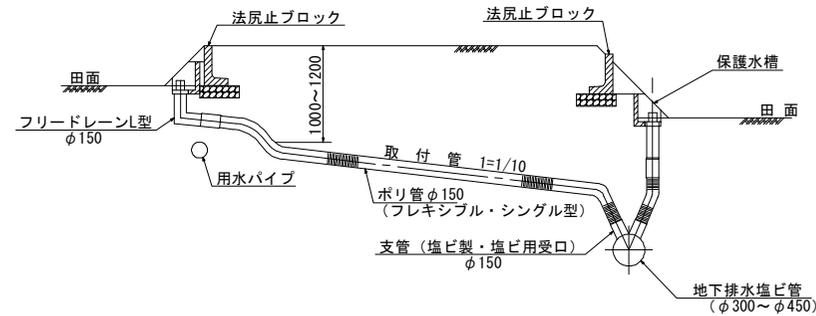


支線道路B

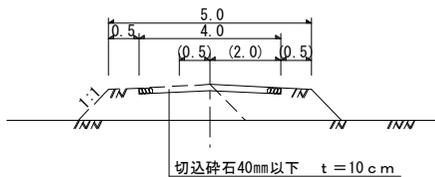


排水路

(地下排水路工)



支線道路C (拡幅)



図面の名称	図面番号
下横瀬地区 主要構造図(変更前)	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製図	
図機	